

中部大学幸友会 会報2011

幸友

特集 Special Feature

スペシャル座談会

大学と企業が 共に目指す人材育成

ふらっと美術館めぐり

ヤマザキマザック美術館

おとなの健康塾

健康長寿・疾病予防のための
適切な睡眠

VOL.14



2011年4月より、 新たに2学科が始動。

生命健康科学部に
「**スポーツ
保健医療学科**」が誕生。

経営情報学部に
「**経営会計学科**」が誕生。

スポーツを活用する 保健医療の専門家を育成。

スポーツ保健医療学科では、病気の予防や健康の増進のために、医学的な根拠に基づいて健康運動を処方し、安全で効果的な実施を指導できる専門家を育てます。また、救急患者に対し、救急車で病院に到着するまでの間に、医師の指示にもとづいて救急救命処置をおこなうことのできる国家資格「救急救命士」※の取得を目指します。

※国家試験受験資格が得られます。

■期待される進路

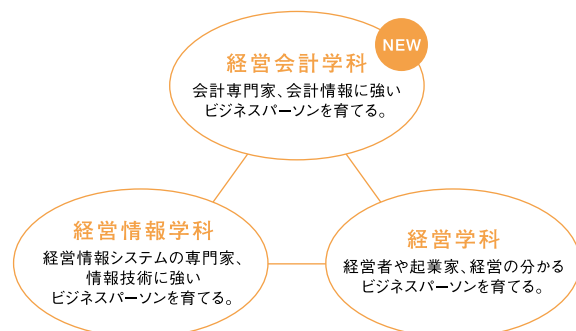
スポーツ保健医療学科
救急救命士／健康運動実践指導者
障害者スポーツ指導員 ほか



これからの社会で活躍する、 会計に強いビジネスパーソンへ。

企業活動に健全性、透明性が求められるなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、「経営」「情報」の知識を持つ「会計に強い人材」に対するニーズが高まっています。経営会計学科では、高度情報時代の産業活動で求められる、経営・情報・会計・経済・法律などの幅広い専門分野について、特に会計に重点を置きながら教育研究をおこなっています。

■3学科体制の経営情報学部



新任のごあいさつ

企業と大学の密な交流と、 双方向の取り組みを目指して。

中部大学幸友会 名誉会長
学校法人 中部大学 理事長・総長

いいよし あつお
飯吉 厚夫

中部大学幸友会の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、幸友会設立当初、文化的な交流が主だった活動も、昨今では企業と大学との共同研究、さらに学生の就職支援へと広がってきました。今後は交流を密に図り、双方向の働きかけによって、大学側だけでなく幸友会発信の活動などにも取り組み、双方にとってメリットのある関係を構築していければと考えています。そのためには、学園全体、とりわけ渉外部、研究支援センター、キャリアセンター等が一体となった動きも必要です。ある企業にとっては、産官学連携の強化、またある企業は良い学生を積極的に採用したいなど、各企業にとって大学側へ要求、期待するものは違います。そうした企業ニーズを大学が敏感に感じとっていかねばなりません。ぜひ皆様方のご要望をお聞かせください。



幸友会というパスポートを手に、 大学と積極的な関わりを。

中部大学幸友会 会長
春日井商工会議所 会頭

まつお たかのり
松尾 隆徳

この度、清水会長の後を引き継ぎ、幸友会会長に就任いたしました松尾です。約1,200名を超える一大組織の会長職を務めるにあたり、その職責の重さを痛感しています。会員企業の皆様にとっては、産官学連携の入口に幸友会があると言えます。しかし、幸友会だけを頼りにしていれば連携をはかれるわけではありません。幸友会というパスポートを手にして、研究支援センター等の交流機関へどれだけ積極的に関わられるか、その支援こそが幸友会の一つの大きな役割だと考えています。また、大学との連携をより深めていくためには、皆様が採用された中部大学卒業生の存在を上手に活用することも今後は必要です。地域の財産である中部大学の力を、皆様と一緒に活用させていただき、中部地域が発展していけるよう、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



幸友 VOL.14

CONTENTS

01.ニュース
CAMPUS NEWS

02.メッセージ
新任のごあいさつ

03.特集
スペシャル座談会
大学と企業が共に目指す人材育成
東海エレクトロニクス株式会社 専務取締役管理本部長 笹川 剛氏
マスプロ電工株式会社 専務取締役企画管理本部長 牧野 与志雄氏
木野瀬印刷株式会社 代表取締役 木野瀬 吉孝氏
中部大学 学長 山下 興亜
中部大学 キャリアセンター長 佐藤 厚
中部大学 学監、中部大学 幸友会事務局長 三浦 昌夫

11.ニュース
中部大学ビジネススクール(経営学修士課程)
MOT型MBA

13.インタビュー
企業人の格言
株式会社坪井利三郎商店 代表取締役社長 坪井 進悟氏
サンメッセ株式会社 代表取締役社長 田中 義一氏

15.ふらっと美術館めぐり
ヤマザキマザック美術館

17.講演報告
企業経営講演会
在名古屋アメリカ合衆国領事館 在名古屋カナダ領事館
商務領事 領事兼通商代表
八木 エドワード氏 アラン・エドワーズ氏
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 ERM事業部長 茂木 寿氏
流通科学大学 教授、(社)日本ベトナム経済交流センター 副理事長 上田 義朗氏

19.暮らしのエッセイ
エネルギーの節約について
フリーライター 岡本 信也

21.シーズ紹介
研究室訪問
中部大学 工学部 電子情報工学科 准教授 保黒 政大
中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 教授 田口 良
中部大学 応用生物学部 食品栄養科学科 准教授 甲田 道子
中部大学 経営情報学部 経営会計学科 教授 山北 晴雄

25.おとなの健康塾
健康長寿・疾病予防のための
適切な睡眠
中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 教授 野田 明子

27.本棚から社会を見る
「原発関連本」を正しく読み解くために。
中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 教授 伊藤 康彦

30.会員企業紹介
幸友会会員企業を訪ねて
東洋電機株式会社 清水 純一さん
リンナイ株式会社 石川 文信さん
イチビキ株式会社 滋野 徹さん

33.就職レポート2011
採用活動の変化に動じない、
本物の人材育成を。

35.総会報告
第23期 中部大学幸友会総会報告

37.総会講演ダイジェスト
環境に対する企業の取り組みについて
造園家、中部大学客員教授 涌井 史郎氏

39.レポート
幸友会講座ダイジェスト

41.寄稿
メンバーズサロン

43.イベントレポート
中部大学フェア 2011

45.お知らせ
イベントのご案内 & TOPICS

大学と企業が 共に目指す人材育成

～大学から社会への円滑な移行のために～



中部大学では、今年度よりディプロマ戦略室を立ち上げ、大学から社会への円滑な移行ができる人材の育成に取り組んでいます。しかしそれらの取り組みには、大学だけでなく企業のサポートが不可欠です。そこで幸友会会員企業様をお迎えし、本学と会員企業様が目指す実践的な人材育成のあり方について話し合いました。

中部大学

中部大学
キャリアセンター長
佐藤 厚

中部大学
学長
山下 興亜

[司会]
中部大学 学監
中部大学幸友会事務局長
三浦 昌夫

幸友会会員企業

東海エレクトロニクス株式会社
専務取締役管理本部長
笹川 剛氏

マスプロ電工株式会社
専務取締役企画管理本部長
牧野 与志雄氏

木野瀬印刷株式会社
代表取締役
木野瀬 吉孝氏

ディプロマ戦略室 設置の背景と その取り組み

三浦 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。早速ですが、まずディプロマ戦略室設置の背景とその取り組みについて、学長からお話し願います。

山下 中部大学では、ディプロマ戦

中部大学におけるディプロマ戦略

- 1 すべての入学者を4年間で卒業させるために(100%卒業)
—留年者・退学者ゼロへの取り組み—
- 2 すべての学生の進路が決まるために(100%就職)
—社会人教育の強化と就職戦略の立案・実施—
- 3 卒業後の活動評価による教育改革・改善
—ディプロマポリシーの検証—

略室を設けて、この4月から具体的な活動を始めています。本学には、「不言実行、あてになる人間」という建学の精神がありますが、この「あてになる人間」を自分たち大学側が考える教育だけで育成するのではなく、社会で意味のある働き方ができる人材を育成するためには、社会から教わる必要があります。そのためにはまず、どんな人材が役に立つのかの注文を伺い、その注文に応えられるような人材育成を1年次からはじめていこうと考えました。しかし、この人材育成は大学だけではできません。そこで社会的、職業的にも自立して社会の発展に貢献できる能力を身につけた優良な人材を、社会全体の中でどのように育成していくかをあらゆる側面から試行錯誤しようと思いい、その中心的な組織としてディプロマ戦略室を立ち上げたのです。

三浦 続いてディプロマ戦略室の「戦略」についての考えを佐藤先生からお願います。

佐藤 「ディプロマ」という言葉だけで解釈しますと、資格や卒業証書という意味ですが、広義で言えば、出口の品質保証、つまり大学がどういっ

た人材を世の中へ送り出すか、それを保証する教育をおこなうということとです。具体的には、たとえばグローバルな視点で物事を考えられる人材を育成する、あるいはコミュニケーション能力を育てるということを宣言する。そこを目指して、カリキュラムを変える必要があるれば変えていく。そうしたときに掲げるものが本来の「ディプロマポリシー」であると思いますが、「ディプロマ戦略」とは、それをさらに拡大解釈したものです。社会からのフィードバックを反映して、

本当に我々の教育はこれで良いのかと常に見直すことも必要ですし、本学ではさまざまな分野における「あてになる人間」を育成する責務もあります。そのために必要な事柄を戦略的に考えていこう、あるいは社会の中の大学という存在で、どんな人材を輩出したらよいかという視点から、打つべき手を打っておこうというように、ディプロマという言葉の枠を越えた取り組みをしているのが現状です。例えば、入社後1年で会社を辞めてしまう事例があります。いま



幸友会会員企業

東海エレクトロニクス株式会社

電子デバイス、ソフトウェアなどの開発・販売をおこなうエレクトロニクス専門商社。国内9拠点に加え、中華圏、東南アジア、アメリカにも11拠点を展開し、国際市場での安定供給体制を構築している。

「大学入学直後に
勉学への興味を強烈に
持っていただきたい。」

東海エレクトロニクス株式会社 専務取締役管理本部長
ささかわ つよし
笹川 剛氏

企業が 大学と学生に 望むもの

三浦 では次に、企業の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。企業の立場から見ると、学生にどのような教育が必要か、また、学生が社会へ出る前にどんな能力を身につけてほしいかなど、ざつとばらんにご意見ご要望をいただけますでしょうか。

笹川 学長の「教育は社会全体でやらなければならない」ということについては、我々企業の人間としても最近痛切に感じています。当社では、通信教育、語学研修、管理職研修、中堅社員研修、若手意見交換会等をおこない、どんな企業人が組織の中で役立つのか、企業における教育の重要性を常に考えながら人材教育をしています。また、大学に期待していることとしては、大学へ入学した直後の1年次の4、5月くらいに勉強に対する興味を強烈に植えつけていただきたいということです。先ほど、



幸友会会員企業

マスプロ電工 株式会社

国内テレビアンテナのトップシェアを誇る電気機器メーカー。「よい製品は、よい考えの中から生まれる」を経営理念に、常にアイデアとチャレンジ精神を重視した企業活動をおこなっている。

「社会にとって有用な人材を育成する責任と義務は我々企業にある。」

まさの
マスプロ電工株式会社
専務取締役企画管理本部長

よしお
牧野 与志雄氏

の学生は、大企業であつても自分の考えと違えばサツと辞めてしまう。それは長い視点、つまり自らのキャリア形成の視点が欠けているのだと思います。人生設計がしっかりしていないから、ちょっとした挫折ですぐに辞めてしまう。そのような事例についても大学が形式的に企業へ何うレベルではなく、企業が積極的に大学へ「学生にはもつとこういう能力を身につけさせなくてはダメだ」と助言をいただければありがたいと思っています。これを実現するためには

大学の教職員全員が一丸となり、その意義を共有していく必要があります。そのために掲げたスローガンが「100%卒業」、「100%就職」、「卒業後の活動評価による教育改革・改善」という3つの柱です。
三浦 いまの3つのスローガンについて、もう少し具体的に話していただけますでしょうか。
山下 「100%卒業」について、4年間では無理という声もあります。が、4年制大学だからこそ絶対にやらなければならないし、大学側がは

じめから無理だと言っているはいけません。「100%就職」についても、働かない者に食べる資格はないと私は思っていますし、生きていくためには、仕事をしたいかしたくないかという選択の問題ではありません。また仕事をしなければ人間的な成長もありえません。では、今までの教育を効率化すれば実現できるのかというところ、決してそうではありません。これらをスローガンに掲げるからこそ、新しい教育のスタイルや新しいキャリア教育ができると思いますし、それをいまこそ考えるチャンスにしたいと思っています。それから3つ目の「卒業後の活動評価による教育改革・改善」についても、卒業生がどんな活躍をしているか、また自分たちがおこなった教育がどういう形で社会に、あるいは企業に展開しているのかを知らずに、今日の教育を改めることはできません。さらに少なくとも20年後、30年後を展望していなければ教育はできません。その長期ビジョンの基礎となるものを企業あるいは、社会で働く卒業生から得ていきたいと考えています。



長い視点の教育がキャリア教育も含めて必要だというお話がありました。が、大学で4年間勉強して、その後に社会へ出て、極端に言えば定年までの自分の姿がどのようなものか、大学生活の早い段階で考える機会があれば、大学生活もその後も身の濃いものになるのではないでしょうか。若者を教育していくシステム

を企業と大学で意識を共有しながらつくりあげ、幸友会企業との情報交換の中で、社会へ出てからも長く長い教育の入口を大学でしっかり教えていただけたら大変ありがたいと思っています。

牧野 この座談会に参加する前に、ディプロマポリシーというものを自分なりに勉強したり、キャリアセンターの方からもご説明いただきましたが、正直、批判的なイメージを持っていました。しかしいまのお話を聞いて、学長をリーダーとしてさまざまな切り口でこれだけ進めているならば、これはこれでやってもらってしかるべきだと感じました。当社には現在、私も含めて約80名の中部大学卒業生がいます。また技術系の管理職にも卒業生が結構な人数を占めています。いわゆる中部大学の学生は、非常に真面目でコツコツ取り組むという印象が我が社の中でもできています。ところが4、5年

前から中部大学生の雰囲気が変わってきた。非常にコミュニケーション能力に長けた学生が増えてきたという印象です。会社は、お互いが相思愛になった段階で入社してもらうものです。そして入社した人間は人生の中で一番長い期間をその会社で過ごすわけですから、私は人材育成とは我々企業がしっかりしなければならぬ責任があると思っています。当社では、入社してきた学生をいかに育てるかを一番のポイントにしています。お互いに選んで入社に至る



幸友会会員企業

木野瀬印刷株式会社

企画・製作・マーケティングから、物流・在庫管理・分析までをトータルで手がける地元・春日井市の印刷会社。中国・大連にグループ企業を持ち、低コスト・短納期のサービス提供を実現している。

たわけですから、その責任を持ちながら社会全体にとって有用な人間になつてもらえるように育てる義務は我々企業側にあると考えています。

木野瀬 現在の社会で、学生が経済のことをより身近に感じて勉強するのは、とても大切なことだと思います。そんな中、中部大学がより社会に対して実効性ある学生を輩出するためディプロマ戦略を打ち出したことには、敬意を表します。私は「学生の社会人化」は必要ないと思いますが、社会に役立つ有用な学生

「教育の革命には武器が必要。
幸友会という
武器をぜひ使って。」

木野瀬印刷株式会社
代表取締役

きのせ よしたか
木野瀬 吉孝氏

を育てることには、大賛成です。その役目を果たすために、我々企業が大学と社会の橋渡しの役目を果たす時代がきたのではないのでしょうか。また、中部大学が今回取り組まれているディプロマ戦略の成否は学内の浸透度にかかっていると思います。その中でも、学生に周知・教育していくのは、取り組み次第で浸透度は増していきますが、教職員の方々にも同時に理念を共有していただかねばなりません。推進の過程では、どうしても学生のみが目が行きがちですが、教える側にも同様の理念共有が求められると思います。企業と学生だけではなく、企業と教職員との接点もこの取り組みには必要になってくると感じます。

三浦 ありがとうございます。皆様のご意見に対して何かございますか。

山下 大いに参考にさせていただきますたいと思います。学生は社会人ではないということはその通りだと思えますし、学生を円滑に社会へ移行させることが、このディプロマ戦略の一番重要な点だと考えています。かつては多くの企業が、体が丈夫で愛社精神を持っていればよいと思っ

時代でしたが、いまはそうではありませんでした。いま企業の海外進出が進んでいます。日本の社会を永続的に発展させるためには「若者をどう育てていくか」がとても重要なことです。グローバルゼーションではなく、インターナショナルゼーション、つまり価値基準が一つではなく、お互いの価値観や文化を大切にしましょうという精神がないと今後の日本の存立も危ないと思っています。そういう点で、円滑な社会への移行をどうするかで悩んでいる。これは「大学ではどうにもならないかもしれないが、いまこそ本学がやらなければならないときだ」と思っています。

木野瀬 最初、中部大学が取り組みましょうとしているディプロマの考えをお聞きしたときは、大学が教育改革を進めるんだという程度の理解でした。しかし、今日改めて学長のお話を拝聴すると、これは改革というより革命だと思いました。そんな崇高な理念の取り組みなら、企業に対して大学がこれからの担う若者をどう育てようとしているのかをもっと声高に発信して、企業側にも身構えてもらうくらいの姿勢が必要になっ



てくるのではないでしょうか。そして、中部大学の取り組みが社会的に評価され、他の大学が真似をするくらいになってほしいですね。

第3章

大学と
企業との連携を
強化するために

三浦 幸友会には約760社の法人会員様がいらつしゃいます。幸友会と大学との結びつきを強化していくことが企業に対する本学の姿勢にもなりますので、企業からのご提案をお聞きしていきたいと思えます。具体的にご提案やご要望がありましたらお願いします。

笹川 卒業後の活動評価にもつながるかもしれませんが、OBの人たちとの交流の場、つまり自分たちの先輩が会社でどのように働いているのか、また、その会社だけでなく社会とはどういふものかを意見交換する場を幸友会企業で持たせていただければと思っています。先ほど1年生のとき

に勉強する癖を身につけさせていただきたいと申し上げたのは、大学4年間の勉強の仕方ではなく、生涯を通して勉強するという気概を身につけさせていただきたいという意味です。またインターンシップとは、学生の間に社会の匂いを少しでも嗅ぐことによつて、自分の知らなかった緊張感が社会に出たら待っていることを知る大変重要な機会です。4年間の大学生生活において、本当に短い1カ月間でも経験していただければ、社会に出てからのギャップも少なく、スツと入っていけるのかなと思っています。

牧野 私としても、もつと積極的な企業訪問を勧めます。各企業には相当数のOBがいますので、さまざまな年齢層の人との意見交換をすることによつて社会との親近感も出てくると思えます。できればゼミの先生にご協力いただいて、ゼミ単位での企業訪問が良いと思えますね。不特定多数で集まった学生の集団ですとやり取りや交流が希薄になってしまいがちですが、ゼミの先生による引率での少人数単位でしたら、我々としてもその後のフォローアップがしやすいと思います。

木野瀬 インターンシップについては、幸友会の企業なら遠慮することなく、多少強引にお願いしてもいいと思えます。我々としても受け入れること自体が、企業の社会的貢献やCSRにもつながります。さらに、社員が学生の皆さんと接点を持つことは、社員の視野を広げる効果も生み出します。そんな交流が、もつと当たり前にできるよう、ぜひとも会員企業を活用してください。

第4章

中部大学および
幸友会が
目指す姿とは

三浦 それでは最後に、中部大学および幸友会が目指す姿についてお聞きしたいと思います。

山下 いまの私の心境と言いますか本学の状況は、課題をどんどん見つけていく課題探索が重要だと思つて



「スローガンを掲げるからこそ
新たな教育が生まれてくる。」

やました おきつく
山下 興亜
中部大学 学長



います。ですから、いろんなトライを
していくことも含めて、企業の皆様
との意見交換等のお話の場を持たせ
ていただきたいというのが一番率直な
意見です。昨年、上海万博で開催し
た「中部大学週」で、中国、タイ、イン
ド、韓国の8大学と本学の全9大学
で学長サミットをおこないました。
そこで感じたのですが、外国人を採

用するとき、将来リー
ダーとして期待できる
人物を正しく判断する
のは、かなりの困難をと
もありません。このような
事態を解決する一つと
して、例えば中国の大学
に対してこんな人材が
ほしいと言えば、学長か
ら責任を持って学長に
推薦してもらえよう
な信頼関係をつくって
いくことが大事だと思
いました。それが産官学の
国際連携における非常
に重要な活動スタイル
になると思いますし、是
非進めていきたいと思
っています。逆に日本人の
指導者がほしいというときは、中
部大学に言ってくれば責任を持っ
て推薦します。そういったギブ&テ
イクの関係で各国との関係をぜひつ
くっていききたいと思っています。課題
はありますし、やりたいこともたく
さんありますが、ぜひ幸友会の皆様
とさまざまな課題を開拓しながら、
合わせてその答えを追究していけれ

ばと思います。

牧野 大学のシンジケートをつくる
ことはとても興味深いことです。私
たちも新たに海外へ進出する際に、
大使館やJETRO等へお願いした
ことがありました。そういうところ
で大学からの紹介が発生しますが、
はじめから大学でシンジケートが
できているのは非常に良いことだと思
います。

三浦 続きまして佐藤先生、よろし
くお願いします。

佐藤 厳しい視点でこの座談会に臨

まれたと牧野さんからお話があり
ましたが、皆様からディプロマ戦略に
関して、非常に肯定的なご回答をい
ただきまして心強く思っています。

しかし、いまの海外のことについても
ダイナミックに動いていかないとけ
ないという想いもより強くなりました。
た。研究者同士は共同研究などでま
とまったりして、個々の先生レベルで
交流や関係を持っていますが、個人レ
ベルではなく、それを教育レベル、特
にインターンシップのような実学・実
際に則した教育で展開できればいま



「先生方の
意識向上にもつながる
企業訪問を実現したい。」

あつし 佐藤 厚
さとう 佐藤 厚
中部大学 キャリアセンター長



「大学と幸友会の
結び付きを強くする策を
ともに考えたい。」

司会 中野大学 学監 三浦 昌夫
中野大学 幸友会 事務局長

までにない新しい教育が実現できる
と思います。そこへ幸友会企業が一枚
かんでいただければありがたいと思
います。それから企業訪問について
は、学生に対して会社とはどうい
うのかをわからせるのが主眼である
ことは言うまでもありませんが、実
は同行する先生にとつても会社が多
ういう仕組みで動いているのかとい
う意見があると思います。工学部や経
営情報学部等はさまざまな企業と
の関係をお持ちの先生方も多いで
すが、それ以外の学部は必ずしもそ

ではありません。ですから、教授陣の
教育という言い方は僭越ではありま
すが、先生の目を開くといった役目
も企業訪問にはあるのではないかと
いう想いも強く持ちました。
三浦 ありがとうございます。それ
は企業の方からもお願いいたします。
笹川 先ほどの海外の話のように、
世の中は本当にボーダレスな社会
になってきました。例えば日本のメー
カーで中国に勤めていた方が、定年
になつても日本へ帰らず、そのまま現
地の企業に技術者として残るケース

も非常に多くなっています。技術の
流出という懸念もありますが、そう
いった抗えない流れがある中で、やは
り学生の国際感覚を1年次からしつ
かり植えつけていただいで、その上で
我々企業側からも学生に対して何
か刺激をお返しできることがあれ
ばしていきたいと思ひます。当社は
商社ですが、将来的なことを考えま
すと、中国に限らず東南アジア、アメ
リカなどさまざまなところでのイン
ターナショナルリゼーションの考え方を
持った学生が必要で、その育成は5
年後、10年後には必須の話になつて
ると思ひます。是非その辺りを教育
の中で期待しています。
牧野 人材を一緒に育てていくため
には、私たち企業としても魅力的な
会社になつていないといけません。こ
ちらの企業側から見た学生と、学生
から見た我々が魅力的なものになつ
ているのかということも常に考えな
がら、一緒に人材育成をしていきたく
と考えています。また今日は、大学の
トップである学長がこれだけ熱い想
いで語る大学はそうないだろうと思
って聞いていました。この気持ちがあ
れば入学してくる学生にも伝わるだ

うし、そこからどんな社会に広が
っていく形をなんとか実らせたいとい
うことを実感しました。
木野瀬 先ほど中野大学の取り組
まれようとしているディプロマは改革
ではなく革命だと言ひましたが、革
命を成し遂げるためには武器が必
要です。幸ひ中野大学はたくさんの
武器を持っています。多くの海外提
携校は、グローバルな感覚を身につ
けた学生を育てるのに最適な武器で
すし、総合大学を形成している優秀
な教員陣も誇り得る武器です。さら
に、もう一つ、大きな武器が「幸友会」
です。この武器を使わなかつたとい
いからです、どんどん使つて、いい
味で使い倒していただきたいです。そ
れが「あてになる人間」を育てるとい
う中野大学の理念の実現につなが
れば、我々企業もこんなうれしいこと
はありません。
三浦 本日は、中野大学にとつて多
くの武器を実感、期待できる座談
会となりました。これから中野大
学、幸友会の繁栄のためにより多く
お願いいたします。本日はどうもあ
りまして。ありがとうございました。

MOT型 MBA

中部大学ビジネススクール（MBA）は、「新事業の開拓」や「事業の革新」を志すビジネスリーダーが実践的経営学を学ぶ社会人大学院です。

豊富な実践経験を持つ教授を多数揃え、在学中はもとより、修了後も「生涯学習」をしっかりと支援します。



MBAが育成する ビジネスリーダー

既存の事業や
企業のあり方を革新する
後継経営者

交渉力

資料調達の知恵と
ノウハウ

関連法規に
関する知識

革新意欲

社会の動きを
見通す力

組織作り

R&D
マネジメント

IT専門家
を活用する能力

産業技術動向
に関する理解

戦略的
構想力

会計・財務
情報の理解

国際経営
戦略

リーダーシップ

マーケティング
発想

起業家
精神

生産供給
システムの理解

企業内ベンチャーとして
新事業を成功に導くリーダー

自らベンチャービジネスを
立ち上げる起業家

修了生からのメッセージ



MBAの勉強を通じて、
現代社会のスピードと
情報の渦に流されない
自分形成ができました。

はやし りつゆき
林 立之さん 立風製陶(株)
代表取締役社長



MBAで身につけた
将来ビジョンを構想し
事業計画を組み上げる知恵、
日々実践しています。

おくむら こうすけ
奥村 康祐さん (有)奥村工業所(株)メタルソリッド
代表取締役社長



変化の激しい
経営環境のなかで行動する
経営者に求められる
広い視野で考える力を得ました。

きたがわ せいじ
北川 誠治さん (株)キタガワ工芸
代表取締役社長



クラスで学んだ知識、
学友たちから得た知恵、
修了後も続く先生方の指導、
MBAの収穫は大きい。

やばし ひであき
矢橋 英明さん 南通関ヶ原有限公司
総経理



26年間技術畑一筋でしたが、
MBA修了後は
技術を活かす経営戦略を
立案しています。

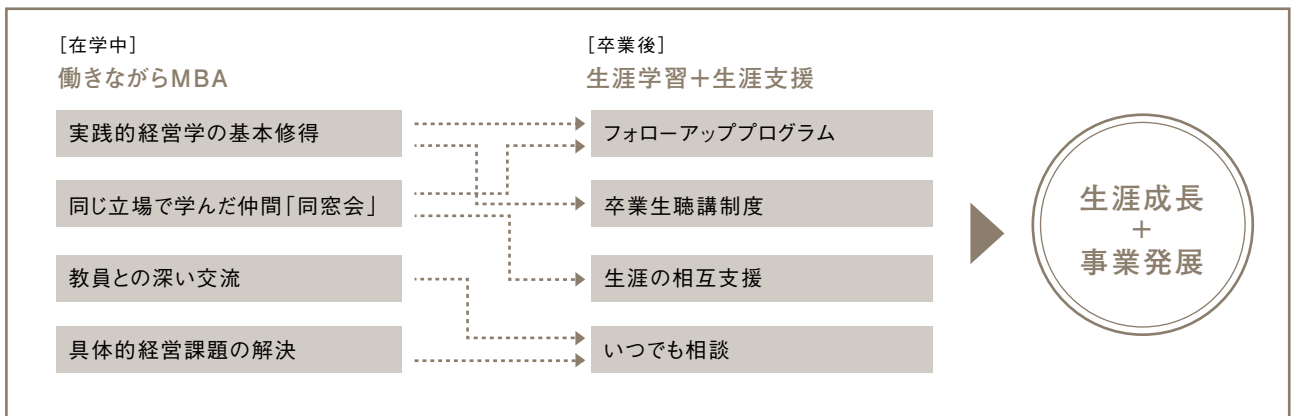
こんどう まこと
近藤 真人さん マスプロ電工(株)
経営企画室長



修了して始めた
中華料理店は
スタートから大繁盛、
いま次の展開を考えています。

おう か
王 曄さん 中華料理店
「萬来館」社長

中部大学MBAは修了後も生涯学習を応援・支援します。



詳細は別途パンフレットをご用意しています。 お問い合わせ先 / 広報部 TEL.0568-51-1111 (代表)

の言
私格

「美しい日本の 景観に貢献する」

「利他の精神」が、
美しい景観をつくる。

東日本大震災の後、日本屋根外装工事協会の会長として復旧作業に携わったのですが、元々関東より福島にかけては職人が組織化されていなかったこともあり、現地での復旧作業は困難を極めました。延5000人工を送り込んだ私としては、改めて組織力の大切さを思い知らされた経験でした。

当社は、伝統的な和瓦をはじめ、カラーベス
トや金属素材、最近ではデザインに調和する
平板タイプの瓦など、その時代に応じたさまざま
まな屋根葺材を扱っています。しかし、やはり
こだわりを持っているのは葺の波と表される和
瓦です。瓦の文化によって生業を得ている我々
が、都市の景観や田園風景を含め、いかに美し
い日本の景観づくりに貢献していくかを大切
にしています。

実際に、景観のよい街は観光地となり、経済
効果も上がっているのです。例えば伊勢のおか
げ横丁。以前は家屋がバラバラで街並みに統一

感がありませんでしたが、赤福餅の先代がみ
んなに協力を呼びかけたことで、今のような門
前町ができました。すると、それまで年間30万
人しか来なかった観光客が、今では350万
人も訪れるようになったのです。私は、こうし
た門前町を復活させていきたいと思っています
。立派なお寺や神社はたくさんあります
が、そこから一歩出れば

どこも同じような
景色が広がってい
る。美しい都市景
観を復活させる
ことで、まちおこ
しなどの活動にも
つながっていくの
ではないでしょうか。

最近では、世の中が「自分だけがよければい
い」という考え方になってきている気がします。
しかし、おかげ横丁のようにみんなが協力して
景観を整えていけば、その土地自体の価値も上
がり、結果みんなが得をすることにつながる。そ
うした「利他の精神」こそが、美しい都市景観を
つくる上で重要である、と私は考えています。



株式会社坪井利三郎商店
代表取締役社長

坪井 進悟

坪井 進悟(つばい しんご)氏/昭和32年愛知県生まれ。昭和55年名城大学理工学部建築学科卒業。同年、合資会社坪井利三郎商店入社。平成12年株式会社坪井利三郎商店代表取締役社長就任。現在、日本屋根外装工事協会会長、株式会社ケンタツ、アイトー瓦工業株式会社、株式会社モランルーフ代表取締役社長などを兼任。

Interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.5

企業人の格言

の言
私格

「First One
for Customer」

営業に全力を注いできた私が
大切にしてきたこと。

私は長年、営業畑で生きてきました。そこ
ですと大切にしてきたのは、「First One
for Customer」(お客様第一)とこう言葉で
す。当社は昨年、創業75周年を迎え、原点回
帰の年として改めて三つの創業精神を掲げま
した。その中の一つにも「顧客第一主義」があり
ますが、これは何も営業だけの話に限りませ
ん。製造本部においては、きちんとした製品を
納期通りに仕上げるのが重要ですし、それ
に加えて、印刷は工程が多いため各工程におい
て「次工程はお客様」という考えのもと、より
よいものを丁寧に次へ送ることを徹底してい
ます。購買本部では、数多くの仕入れ先がグッ
ドパートナーであり、お客様です。また管理本
部においては、銀行をはじめさまざまなお付
き合いがあります。総務部は、会社としての
お付き合い、地域の皆様がおお客様であり、人
事部からすれば社員全員がおお客様です。会
う人皆様がお客様なわけです。

しかし昨今ではデジタル化が進み、インター
ネットを使えば簡単に物事が済んでしま
います。インターネットで会話ができ、写真や
動画も送れます。すると話をしなくても仕
事をきちんとすればいいじゃないかという態
度を取つてしまいがちです。しかしそうでは
いけません。当社は、各営業拠点でよりお客
様の近くへ行き、より密着した形で「Face
to Face」の話をしながらお客様の課題のソ
リューションを図り、顧客満足度を高める努力
をしています。

人は、面と向かって話す

ことが基本です。二期
一会、人と人との出
逢いを一番大事にし
ながら営業をやら
せていただしていま

すが、決して自分自
身に能力があるわけでは

なく、周りの皆様に助けられて今があります。
そのようなサポーターをたくさん持つためにも、
広く外へ出て行くことを絶えず考えていくこと
は、これから先も変わることはありません。



サンメッセ株式会社
代表取締役社長

田中義一

田中 義一(たなか ぎいち)氏 / 昭和19年岐阜
県生まれ。昭和41年学習院大学経済学部卒
業。昭和41年田中印刷興業株式会社(現サン
メッセ株式会社)入社。昭和55年名古屋支店
長、平成12年専務取締役営業本部長、平成19
年代表取締役副社長、平成21年代表取締役
社長(現在)。

一世紀以上におよぶ伝統のなかで培った技術を、今に継承し続ける老舗瓦屋。

大垣市に製造拠点を置き、最新鋭の機器と技術でお客様の思いに応える印刷会社。

先代から事業を引き継ぎ、経営者として大切にしてきた言葉とは何でしょうか。

今回もおふたりの企業人にお話を伺いました。



美術館めぐり

SCENE
2
ヤマザキ
ヤマザック
美術館

作品を通して、私たちに新たな価値観や驚きを与えてくれる美術の世界。
今回は、世界最大手の工作機械メーカーであるヤマザキヤマザック株式会社が開館したヤマザキヤマザック美術館をご紹介します。日本では貴重なロココのコレクションを揃える、その魅力をお伝えします。

2010年4月、名古屋の中心地の一角である葵町に開館したヤマザキヤマザック美術館。館内は1階にチケット売り場とミュージアムショップがあり、4階にはアー・ヌーヴォーのガラス工芸品と家具、5階には18世紀から20世紀に至るまでのフランス美術の流れを一望できる絵画コレクションが展示されている。

ヤマザキヤマザック株式会社の代表取締役会長を務めた山崎照幸氏（1928〜2011）が、忙しい海外出張の合間、休日に美術館を訪れることが楽しみとなり、徐々にフランス美術に魅了され、心に響く作品を自身の目と足で一つ一つ慈しみながら収集したという作品の数々。中でもロココの油彩作品は16点もの数を揃え、これだけまとめて見ることができるといっては日本でもこの美術館だけだという。また、すべての絵画作品において、額装からガラス板やアクリル板が外されているのは、「お客様には、筆跡や色彩などを直接、作者と同じ視線で観賞していただきたい」という心遣いによるもの。さらに、作品の背景にある歴史やス

トリーを学びながら観賞を楽しむことができるよう、音声ガイドダンスが無料で提供されているなど、おもてなしの心が随所に表れている。美術鑑賞にあまり馴染みのない方でも楽しく過ごすことができる美術館だ。

さて、5階のエレベーターホールでまず迎えてくれるのは、コレクションのきっかけともなったボナールの作品。続いてヴァトー、ブーシエ、シャルダン、フラゴナールなどロココの画家作品が並ぶ展示室は、高さ5mを超える天井に美しいシャンテリアが輝き、深紅の布で彩られている。この壁布は、オーストリアのバックハウゼン社に特注で製作を依頼したというこだわりの布だそう。展示室は時代によって、黄、青、緑と、それぞれ色分けがされている。18世紀ロココの作品が並ぶ赤の部屋では、「フランス絵画の父」と称され、ロココの最重要人物でもあるヴァトーの『夏の木陰』を見ることが出来る。ちなみにこの作品は、ボタンによって上げ下げが可能な拡大鏡が設置されており、ヴァトーならではの筆致の精緻さや濃密さをじっくりと観



初代館長 故山崎 照幸さん

昨年4月23日、美術館として一般公開し、ご覧になった皆様や地元の方々から、多くの嬉しいお言葉を頂くようになりました。当館が皆様のやすらぎの場となり、社会に貢献できているのなら、こんなに嬉しいことはありません。今後、東京など近郊以外の方々に来館していただけるように努力していきたいと存じます。

2011年9月15日(木)に逝去した故山崎照幸さん。9月初旬に取材した際に美術館の思いを伺いました。



ヤマザキマザック美術館友の会
ご入会のご案内

芸術を愛する方々が、お互いに美術への関心を深め合い、活発に交流する社交の場です。作品を何度でも観賞いただけるとともに、折に触れて開催される講演会や演奏会など、美術館で開催されるイベントにご招待いたします。

入会特典

- 1年間観覧フリーパス(ご本人様)、ご招待券2枚などプレゼント。
- 美術館で開催する講演会などに優先ご招待。
※年会費10,000円で、いつでもご入会いただけます。(1年間有効)



ヤマザキマザック美術館
〒461-0004
愛知県名古屋市中区葵1-19-30
TEL:052-937-3737
<http://www.mazak-art.com/>

賞することも可能だ。続く黄の部屋には印象派を中心とした19世紀の作品、青の部屋には20世紀の作品群が、それぞれ時代の流れとともに私たちを迎えてくれる。

4階は緑色の壁布で統一され、19世紀末にフランスを中心にした花開いたオール・ヌーヴォーの工芸品や家具が展示されている。フロアに足を踏み入れるとまず目を奪われるのが、デユマの『ダイニングルーム』だ。ナナカマドの木をモチーフにデザインされたこの部屋は、テーブル、椅子、キャビネット、壁面装飾など一部屋丸ごとがオール・ヌーヴォーの真髄を伝える空間となっている。さらに歩を進めると、ガレ

のガラス工芸作品が並ぶフロアへと続く。ガレの作品の中でも、今まで日本ではほとんど知られていなかった最晩年の作品を中心とした大変貴重なコレクションだ。その独創的かつ多様なガラス技法を堪能することができる。

ヤマザキマザック美術館の所蔵作品は、ロココを中心としたオールドマスターの作品が多くを占め、それらは現在の日本ではなかなかお目にかかれないものばかりだ。また、単に作品を楽しむだけでなく、作品に合わせた空間作りにもきめ細かい工夫が施されており、豪華な世界観を全身で楽しむことができる。その洗練された美の世界を、是非とも一度体感してみたいかがだろうか。

企業経営 講演会

Report

企業の経営に役立つ“実践経営塾”として
毎回、各界から第一人者を講師にお迎えし
開催している「企業経営講演会」。

ビジネスにおける成功の秘策は？リスクは？
今号も、講演の模様をダイジェストでお伝えします。



第14回企業経営講演会
2010年11月24日(水)開催

〈演題〉
北米から見た
中部の現状と将来の
ビジネスチャンス



〈講師〉
八木 エドワード氏
在名古屋アメリカ合衆国領事館
商務領事



〈講師〉
アラン・エドワーズ氏
在名古屋カナダ領事館
領事兼通商代表

2007年7月から、アメリカ、カナダの在名古屋領事として、それぞれ中部の経済を肌で実感されてきた八木エドワード氏とアラン・エドワーズ氏。講演では、北米の視点から、日本や中部地方の現況、将来のビジネスに必要な考え方を流暢な日本語でお話いただきました。「名古屋は素晴らしいものづくりの印象が強いが、その一つの柱に頼り過ぎています。ものづくりを基礎として、今後どのような新しい経済を考えていくかの将来の方が大切。」

そのためには前向きな気持ちとアイデアを持って、パートナーシップをつくっていくことが重要だ。自由貿易で新たな技術を進展させ、経済力を伸ばしてきたアメリカとカナダの両国間のようなパートナーシップの必要性に加えて、日本には財政不安等の経済問題よりも将来への悲観的な気持ちの問題が大きいことを指摘しました。またアラン氏は、多額の負債を抱えていたカナダが、政権交代を経て1997年に財政が黒字化したことの背景にあるプログラムを例に、さらに八木氏は、日本の少子高齢化に対する国の対策の遅れを例にあげ、はっきりとした目標を持つことの重要性に言及。「国、地域、会社、個人一人ひとり、目標や夢を持ったほうがいい。そうすることが国際的な競争力低下の歯止めになるはず」と話されました。また「人口が減少することは、問題ではない。人口が減少することにどんな利点があるのか」という発想に転換させるこそが重要で、人口ピラミッドがアンバランスだという「課題」にどう対応するかをビジネスチャンスとして考えるべきです」と強調。日本を支持、信頼している立場だからこそ、グローバル社会で日本が生きていくために必要な考え方を強くアドバイスされました。

第15回企業経営講演会
2011年1月26日(水)開催

〈演題〉
海外ビジネスにおける
リスクマネジメントの
重要性



もてぎ ひとし
氏
〈講師〉茂木 寿氏
東京海上日動
リスクコンサルティング株式会社
ERM事業部長

過去には、湾岸戦争、I R R A の爆弾テロに関する対応から、S A R S ・鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等の感染症対策のコンサルティングまで、これまでに400社を超える企業や組織のコンサルティングに携わられてきた茂木氏。講演では、日本の企業が海外でビジネスをおこなう際に考えられるリスクの分析とその対応策について、主に中国を中心とした新興国での状況を例にとり、多角的かつ細やかにお話いただきました。まず「すべてのリスクを回避することがリスクマネジメントなのではないか、と言われることがよくありますが、それは間違いです。リスクマネジメントとは、企業がこの先20年後

も50年後も存続していくために脅威となる大きなリスクを見つけ出し、それに対処していくこと。世界中で政治、経済、社会のすべてが流動化している現代において、リスクも流動化、多様化、巨大化しており、その数は無限に存在しています」と指摘。目先のリスクだけでなく、将来的なことも念頭に置いてリスクマネジメントをおこなう必要性を説明されました。さらに「日本では考えられないようなことが当たり前になる海外でのビジネスは、非常に高いリスクと付き合わざるを得ません。しかし、そのリスクに見合って余りあるほどのチャンスがそこにはあります。日本の有力企業の多くも、海外での収益が非常に高くなっています。ただ危ないというだけでリスクを回避することは、企業が安定的に成長していく上で、むしろマイナスな要素となるでしょう」と言及。リスクと向き合い、海外でのビジネスに挑んでいく価値を説きました。そして最後に、「リスクマネジメントを確実におこなうことで、海外でのビジネスチャンスは大きく広がっていく」と、改めて海外ビジネスにおけるリスクマネジメントの重要性を語り、講演を締めくくりました。

第16回企業経営講演会
2011年7月27日(水)開催

〈演題〉
メコン川流域3国における
経済環境と
ビジネスチャンス



うへだ よしあき
氏
〈講師〉上田 義朗氏
流通科学大学 教授
(社)日本ベトナム経済交流センター
副理事長

1994年に、ダイエーの創始者であり、流通科学大学の設立者でもある中内功氏と初めてベトナムを訪れた上田氏。それをきっかけに、その後ラオス、カンボジアにも訪れ、2006年にはベトナムで投資運用会社を設立されました。講演は、メコン川流域のベトナム、ラオス、カンボジアの3国におけるマクロ的なビジネスチャンスと問題点からスタート。「アジアの中でトップを切って経済成長を遂げている中国、次いでインド、その次がラオス、カンボジア、ベトナムの3国で、この地域は3国が一体化して発展を遂げている、特にインフラ整備が非常に進んでいる」と年代別の写真を用いて解説されました。その後、

2015年に成立を目指しているアセアン経済共同体(AEC)について触れ、EU(欧州連合)がEEC(欧州経済共同体)創設から、独仏の対立と協調のなかで成立までに35年を要したことを例にあげ、「2050年までの長期的なスパンで、この地域が変貌を遂げることは間違いないだろう」と言及しました。その一方で、ベトナムの経済的・政治的な課題として、貿易収支の改善やインフレの抑制のためには「裾野産業」の育成が急務であると指摘し、そこにこそ日本の中小企業の出番があると提言しました。中小企業にとってのビジネスチャンスと留意点については、「信頼できるパートナーを見つけることが最重要。現地企業の力量や能力を目利きできる日本人やベトナム人がいれば安心。複数からの多角的な評価を取ることでも大事だ」と述べられました。最後に、ベトナム人の国民性についても触れ、成功のシナリオとして、「国際競争力の高付加価値の製品・サービスを日本企業とベトナム企業が技術協力して、中国より低価格で海外・国内市場向けに提供すること。ベトナムの国内資源を開発・加工して国内販売・輸出することだ」と説きました。

※所属・役職は講演当時のものです。

重力の観察から

今春、名古屋某所の空き地でアルミ缶のふたをひとつ拾った。久しぶりである。今の若い人はご存知ないかもしれないが、20数年前、コーヒーやビールの缶のふたをプルトップとかタブと呼んで、缶のふたは引きちぎって飲む型であった。ちぎれたふたが路面や溝のふちに散乱していた。これを拾い集めて行くと、さまざまな形状があり、それが人の足や自動車のタイヤに踏みつけられ、折れたり、まがったり、千差万別の表情が見られ面白く思われた。

あれから20余年、缶のふたの型式が変わり、今見るようなステイオン(ちぎれない型)となり、べちゃんこふたは消えてしまった。久しぶりに拾って、なつかしい気持ちがあった(図A及び下記参照)。考えてみれば、このふたの変形は地球の重力作用によって生まれた現象である。

缶のふた拾いをする以前、1970年代に私は揖斐川の上流、徳山村(現・岐阜県揖斐川町)へフィールドワークに出かけた。まだ、ダムに沈む前、8カ村の集落をたずね歩いて生活記録をつづけた(『フィールド2号』1975年刊)。この村に電気が点つたのは1950年

(昭25)で、以降年々、電気の需要が増え、本格的導入

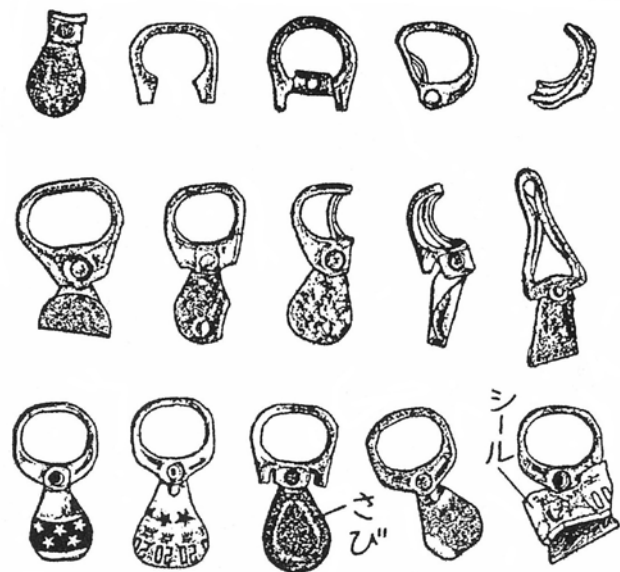
がはじまったのは1963年(昭38)である。村の家々

にテレビ、洗濯機、扇風機、冷蔵庫、炊飯器、掃除機等が入るようになる。私が訪

れた頃はダムの計画が知らされてきたが、水力発電を目標としたものであった。ご

承知のとおり、水の重力でタービンを回転させ電気を

つくる方法である。山村に限らず、敗戦後(昭20)の日



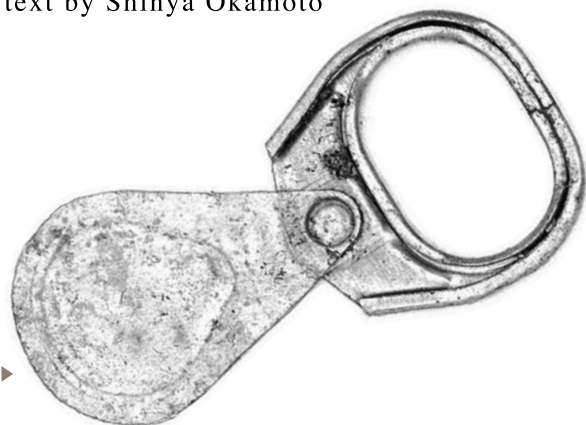
図A 缶のふた

暮らしのエッセイ 5

エネルギーの節約について

岡本信也

text by Shinya Okamoto



2011年名古屋で採集した缶のふた

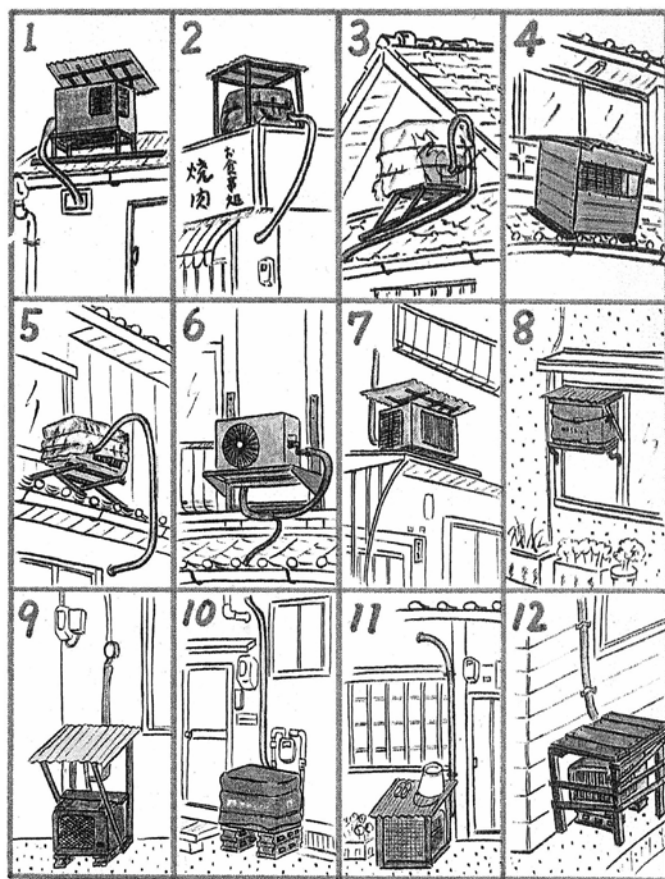
本はどこでも電力不足だった。雨が幾日も降らないと映画館が休みになる、電気こんろを買っても湯が沸かせないと…停電で困った時期がある。豊かな河川が多い地域では水力発電は希望のシンボルでもあった。が、後年、徳山村のダムは完成したけれども発電が目標ではなく、多目的利用のダムとなっていた。ダムによって村々の方が消滅してしまったのである。

「重力によるエネルギー」に限ってみれば、水力発電は美にすぐれた技術だろう。それに比べ、前出のふた拾いは有効

利用とは言い兼ねる。趣味の領分だろう。けれども、地球上のどこにでもある重力の現象を再認識すること。落下力とか回転力(上が下になり、下が上になる連続的現象)等、諸事象を日々観察することから、より新しいエネルギーの発見が生まれるのではないか。かつて、古代の人びとが水車、ポンプを発明したように。



▲電気こんろ



図B クーラーの室外機 (1985年・中日新聞「街の考現学」で掲載)

エアコンとあかり

今年、6月28日朝、テレビで天気予報を見ていたら、「今日の電力予想89%」とニュースが流れた。この日を最初として毎朝、電力予想が発表され「節電のすすめ」が日本各地に広がった。そのひとつ、エアコンには無念な思いがある。

私の家では1970年代にルームクーラー(当時エアコンではなかった)を入れた。古い木造の町家だったので、土壁に穴を開け、窓ガラス、戸障子を密閉しなければならぬ。すきまだらけの家

屋がガタピシして、こわれるのではないかと思った。涼しくはなつたけれど、室外機からは嫌な熱風が排出され、快適さとは裏腹に不愉快であった。この思いにかき立てられ、屋根の上や庇の下、軒端に取りつけられたクーラーの室外機を観察した(図B参照)。現在の新しい住宅・マンションでは高气密でエアコン設備ができるよう設計されているが、当時の住まいは、まだまだ旧来の住宅が多くあり、その家へクーラーを取り入れたため、不似合いな、不自然・不安定な室外機が諸所に見られた。日本のうつくしい家屋を

破壊しているように映った。

節電で思い出すのは夜の街のあかり——照明である。1970年代、蛍光灯の白い光が日常化しはじめた頃、夜になると煌々とあかりが点る。街灯・家々のあかり・ネオンサイン等とは別な、たとえば道路脇のガソリンスタンド、24時間営業のコンビニ、街角の自販機群、工事中の標識：真夜中でも明るい街(図C参照)が現われた。十五夜の月も色あせてしまう。それはここ30〜40年の間で徐々に増加してきたため実感しにくい

が、その前の暮らし方を思い出してみると、過度な明るさである。エアコン、蛍光灯は充分過ぎるくらいあり、節電は可能である。

オストヴァルトという科学者(ノーベル化学賞受賞者)が1912年に『エネルギー』(岩波文庫刊)の書を発表している。その中でエネルギーの形態には落下力・運動力・

熱・磁気・電気・化学反応を列挙する。こ

こまでは科学としてフツツな説だが、最終の章で「精神現象」をもエネルギーの形態と考えている。あらゆる現象をエネルギーとしてとらえようとするユニークな発想(エネルギー一元論)である。現代科学事情に無知な私には理解しにくい

が、節約する気持ち——精神もエネルギーから。

美術骨董の蒐集を趣味とする人たちに比べ、缶のふた拾いが節約的であるのはたしかである。



図C 夜のあかり(ガソリンスタンド、自販機、工事中の標識・愛知県で採集)

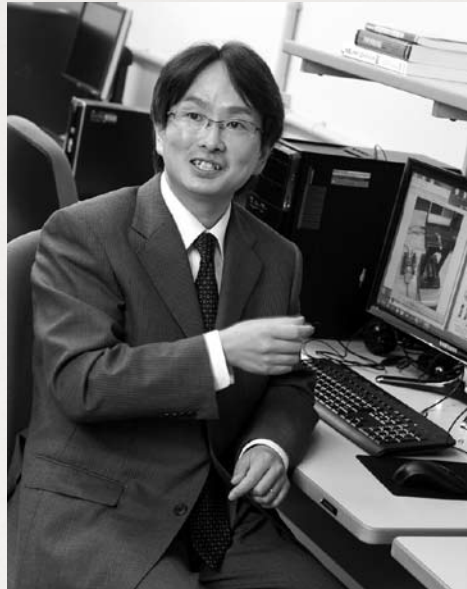
研究室訪問

シリーズ紹介

NO.1

音声・画像情報処理工学

暮らしをさらに進化させる、
高精度な生体認証技術。



工学部 電子情報工学科
ほくろ まさひろ
保黒 政大 准教授

[専門分野] 音声・画像情報処理工学

[研究テーマ] セキュリティへの応用に関するメディア処理と
その認識技術の開発・研究

ハイブリッド
認証システムを目指して。

昨今、銀行のATMや入退室管理などで見かける機会が多くなった指静脈を使った認証システム。保黒准教授は、そうした生体認証技術のさらなる精度の向上、利便性の追求を目指して研究開発をおこなっています。中でも特に力を入れているのが、非接

触型の生体認証技術。これまでの指紋認証システムは、センサに指を触れるタイプのもので、衛生面での問題を指摘する声もありました。そこで非接触認証の技術を活かし、指紋認証と静脈認証の両方を組み合わせた高精度なハイブリッド認証システムの開発を目指しています。「従来の指紋認証は、指の小さいお子さんや指の表面が硬くなっている高齢

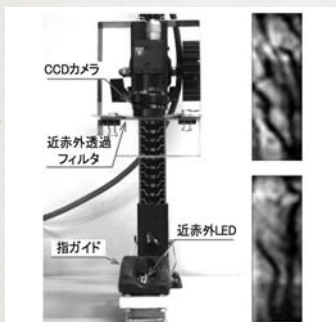
者の方を中心に、入力が困難なケースもあります。非接触で指紋と静脈の両方を認証できるシステムが実現すれば、精度や利便性において大きな改善が見込めるはずです」。ハイブリッド認証システムがマンシジョンや住宅の鍵、またパソコンのパスワード入力などに使用できるようになれば、私たちの生活はよりスムーズになることでしょう。

生体認証技術の
さらなる可能性。

そして今後、保黒准教授がさらなる生体認証技術活用のもととして導入を目指しているのが、医療現場のデータベースです。「現在、患者さんの診断情報は、診断した病院だけが持つっており、転院する場合には紹介状をはじめ、さまざまな書類を準備する必要があります。そこで私たちが研究しているのが、診断情報をデータベースに預け、次の病院で

引き出すことが可能な管理データベース。そのデータベースへのアクセスの際に必要な患者さんの認証に、我々の生体認証技術を活用できないかと考えています」。もしこのシステムが実現すれば、転院が便利になることはもちろん、他のさまざまなシーンにおいても応用が期待できそうです。一般的な認識こそあるものの、まだまだあまり馴染みがあるとはいえない生体認証技術。しかしその技術は、私たちの生活をさらに進化させてくれる可能性に満ち溢れています。

■ 静脈撮影装置と静脈画像例



今後は、指紋・静脈のハイブリッド撮影装置の開発を目指す。

中部地域屈指の総合大学として成長を続ける中部大学。

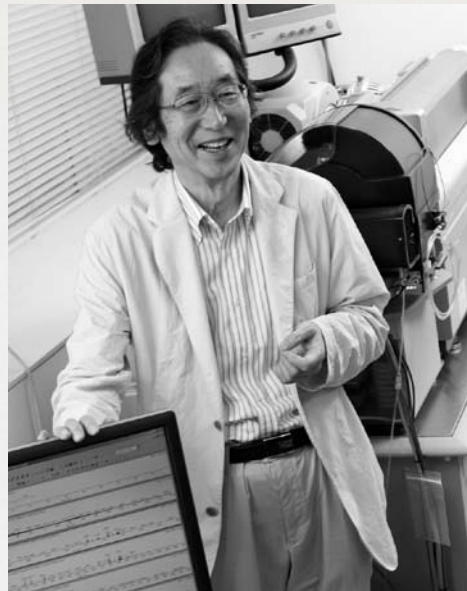
今号は、7学部29学科から文理4学部の研究内容をそれぞれご紹介します。

産官学連携あるいは事業化等にご活用ください。

NO.2

脂質生化学

脂質の分析によって、生活習慣病の原因や予防法を解析。



生命健康科学部 生命医科学科

たくち りょう
田口 良 教授

【専門分野】脂質生化学、質量分析学、メタボリック、脂質代謝異常関連疾患

【研究テーマ】生活習慣病等、脂質酸化を要因とする疾患の解析、健康・食品栄養と予防医学の為の脂質解析。

病変部にみられる脂質酸化物の増加。

私たちの身体を構成、維持するエネルギーの一つである脂質。田口研究室では、主に病態モデルマウスや人の血液サンプルを使って、脂質の代謝異常がどんな生活習慣病を引き起こすのか、また食事の脂質のバランスにはどういった注意が必要なのかについて

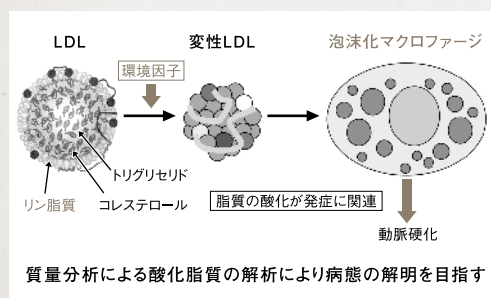
研究をおこなっています。「生活習慣病の原因は、主にエネルギーの過剰摂取。そうした余分なエネルギーの中から、脂質の酸化物が悪い形で身体の中に蓄積されてしまいます。たとえば、動脈硬化や心筋梗塞を起こしたところには、血しょうや内臓脂肪の中に脂質酸化物の増加がみられることがわかってきました」。それらの脂質酸化物における分子の種

類や量を分析することで、脂質の代謝異常によって引き起こされる病気の発症リスクや病態進行度の予測が可能になったり、またその病気を防ぐためにはどんな脂質に気をつけて食生活をおくればいいのかといった予防医学にも貢献できます。

脂質の分析が、予防医学や新薬の開発に貢献。

また、私たちが普段食べている肉と魚の脂は全く別の系統の脂のようです。「肉の脂には異物をやつけて身体を守る働きが、魚の脂には炎症を抑える働きがあり、それらのバランスが大切です。また、どちらの脂も体内ではつくれないため、食事によって摂取するしかありません。ですから、どういう食生活をおくっているかによって、身体の中の脂質の構成が決まってしまうのです」。脂のバランスも意識した上での、食生

■血しょう中の低密度リポタンパク質 (LDL) の酸化と動脈硬化



活が大切だと言えます。さらに田口教授は以前、東京大学の薬学部との共同研究で、炎症を抑える働きがある魚の脂の酸化物から、すでに見つかっているものより10倍も活性の強い物質を発見しました。それを元に、製薬会社が炎症を直すための薬を開発しているそうです。このように、私たちの生理的な機能に密接に関わっている脂質の働き。その動きを見ていくことで、新しい治療法や診断法につながるさまざまな発見が今後も期待できるはずです。

私たちの健康を害する肥満を
予防するための方法を研究。



応用生物学部 食品栄養科学科
甲田 道子 准教授

【専門分野】疫学(肥満、形態計測、体脂肪)、スポーツ栄養
【研究テーマ】皮下脂肪および内臓脂肪と生活習慣病との関係、スポーツ選手の食事・栄養管理

肥満の基準を、
内臓脂肪と
皮下脂肪から考える。

生活習慣病をはじめとしたさまざまな疾病の原因となり、現代における大きな健康問題の一つでもある「肥満」。この肥満の判定方法や基準値についての研究をおこなっているのが、甲田准教授です。「肥満の分析手段とし

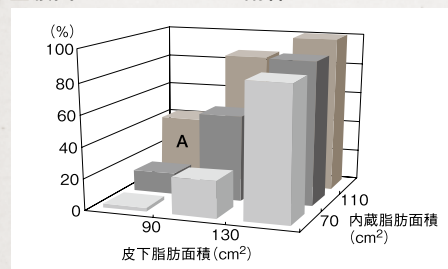
て、内臓脂肪と皮下脂肪に注目しています。2003年より、国民健康・栄養調査において、腹囲の測定でメタボリックシンドロームの診断をおこなっていますが、腹囲の数字は皮下脂肪の厚みに左右されやすい値です。しかし、腹囲の値は小さくても内臓脂肪が多い人もいます。見た目はそれほど太って見えなくても、実は内臓に脂肪がついているという人

です」。腹囲測定の値にとらわれず、日頃から健全な生活を心がけることが肝心だといえます。
脂肪を落とすよりも、
筋肉量を増やす
という視点を。

また、今後甲田准教授が調査を予定しているのが、若年女性の体格と体力、月経等との関係性について。一般的に身体の脂肪について知る方法として、体脂肪率の測定がありますが、特に若い女性は、ダイエットなどで体脂肪率の数字を気にしすぎることは好ましくありません。「体脂肪率は体重に占める脂肪の割合であり、一つの目安にすぎません。脂肪が多ければ体脂肪率は高くなりますが、脂肪が多くなっても筋肉量が少なければ体脂肪率は高くなります。体重が少ないうちに体脂肪率が多い人のことを「隠れ肥満」と呼ぶのを耳にしますが、私はむしろそれは「隠れ

痩せ』であると考えます。脂肪を落とすことよりも、筋肉量を増やすことに目を向けるべきなのではないでしょうか。脂肪は女性ホルモンをつくる働きもあり、体脂肪を減らしすぎると、月経不順を招く原因にもなりますので注意が必要です」。元々、世界には飢餓で苦しむ人がいる一方で、飽食や肥満に悩む国があることに疑問を感じ、研究を始めた甲田准教授。脂肪を減らす必要に迫られる前に、脂肪を増やさないための方法を明らかにすることで、生活習慣病の予防を目指しています。

■腹囲85cm以上の人の割合



中高年男性において内臓脂肪面積および皮下脂肪面積をそれぞれ三等分して分類した図。Aは皮下脂肪面積90cm²未満で内臓脂肪面積が110cm²以上の人割合である。このように内臓脂肪が多くても皮下脂肪が少ないと腹囲85cm以下と判定される割合が高くなることわかる。



中部大学研究支援センターでは、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

研究支援センター

0568-51-4852 (直通)

幸友会事務局を介したご相談も承っております。

[幸友会事務局] 0568-51-4740 (直通)

NO.4

会計学

自治体の施策そのものを評価することが大切。会計には、一定期間の経営成果を計算する「財務会計」と、その成果をあげるために有効な会計情報を経営者に提供する「管理会計」という2つの分野がありますが、後者の管理会計を専門に研究している山北教授。教員になられる前は、東京都庁で中小

企業やベンチャー企業の経営コンサルティングや調査研究をされていたこともあり、現在は自治体の管理会計、特に自治体の施策評価について研究されています。昨今、注目を集めている事業仕分けについて、「この事業は住民



経営情報学部 経営会計学科

山北 晴雄 教授

[専門分野] 会計学(管理会計、原価計算、中小・ベンチャー企業財務論)

[研究テーマ] キャパシティ・マネジメント、中小・ベンチャー企業の管理会計、地方自治体の業績評価

経営の成果をあげるための効果的な会計情報を考える。

に対してこういうサービスを提供しているが、成果に見合うコストで運営されていないため続けるべきではない』というように、きち

んと数字的な根拠を出した上で仕分けをおこなうべきです」と、自治体の施策そのものを評価する仕組みをつくる必要性を指摘されています。

企業も自治体も、お互いを活用していく意識を。

また、国や自治体の職員は予算を獲得することに必死で、獲得した予算を効果的に活用していくことには関心が薄いとのこと。「民間企業における利益のよ

メニューが揃っているものの、一部の企業にしか活用されていないという現状があります。「活用されていないのは自治体のP/R不足もありますし、企業の会計担当者もありませんね。中小企業やベンチャー企業など、これから伸びていく企業はどうしても資金が不足しがちですが、助成金などをうまく利用している企業はやはり伸びています」。経営の成果をあげるための管理会計。自治体においても企業においても、管理会計の貢献できるシーンは多そうです。

■自治体経営や管理会計に関する資料



おとなの健康塾 2



健康長寿・疾病予防のための 適切な睡眠

臨床検査技術教育・実習センター/中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 教授 のだ あきこ 野田 明子

睡眠のメカニズムと 睡眠時間

睡眠のタイミングは脳の視床下部の視交叉上核にある体内時計で調節されています。体内時計は自律神経系・内分泌系・免疫代謝系のリズムも支配しています。睡眠はノンレム睡眠とレム睡眠に分類されています。健常者では入眠→ノンレム睡眠→レム睡眠と経過し、これは約90分間を一周期として一晩に4、5回繰り返されます。ノンレム睡眠は深さにより4段階に分類され、成長ホルモンは第一睡眠周期の徐波睡眠期（睡眠段階3・4）に最大の分泌量を示します。また、抗ストレス作用・抗炎症作用をもつコルチゾールの分泌は起床前後で最大となります。レム睡眠中は、自律神経活動が激しく変動しており自律神経系の嵐と言われています。ノンレム睡眠は休息と回復、成長と関係し、レム睡眠は脳の情報処

理に参与していると考えられています。睡眠のタイミングや深さは、自分ですべてコントロールできるものではありません。最近の研究において睡眠時間や、夜型か朝型かは遺伝子の多様性による体質に基づくことも明らかになれつつあり、自分の睡眠特性を把握することが良好な睡眠の維持に重要です。

睡眠時間の短縮化は肥満・糖尿病・心血管病の発症と関係するとも報告されています。日本人を対象とした最近の調査では睡眠時間7時間の人の死亡率が最も低いことが示されました。また、50～70歳代において、睡眠時間が6時間未満の人は狭心症・心筋梗塞の発症が増加し、死亡率が増加することも報告されています。

加齢・不眠・ むずむず脚症候群

加齢による代謝の変化や活

動量の減少で、40歳後半から睡眠の欲求は低下しますので、若い頃と同様な睡眠時間を確保しようとするれば、それが睡眠の悩みの原因にもなります。不眠のタイプには、「寝つきが悪い」、「夜中に目が覚める」、「朝早く目が覚める」の3つのタイプがあります。寝つきが悪いタイプは若い人や中年で多くみられます。この対策には規則正しい睡眠を心がけることが大切です。夜中に目が覚める対策としては昼間の活動量を増やす、

朝早く目が覚める対策には夜楽しめることをするようにして寝る時間を少し遅くするなど改善が期待できます。寝酒は不眠の解決法と思われていることが多いですが、少量の飲酒でも睡眠に悪影響を及ぼすことが示されています。二日酔いとならなくても、翌日の活動能力の低下をもたらすことがあります。さらには不眠を引き起こしたり、睡眠時無呼吸が悪化



睡眠は人生の約1/3を占め、
 脳および身体を休息させるために必要不可欠であり、
 生活の質を維持するために重要な役割を果たしています。
 24時間社会の現代では、睡眠は軽視され、
 睡眠不足や睡眠障害が増加しています。
 これらは、作業事故・交通事故の原因の一つとなっており、
 社会的問題としてもクローズアップされています。

したりすることもあります。
 中高年になるとみられる不眠
 の原因としてむずむず脚症候
 群や周期性四肢運動障害があ
 ります。むずむず脚症候群は
 睡眠前にむずむずした脚の感
 じで眠れなくなります。周期性
 四肢運動障害は睡眠中に脚が
 動く病気です。これらは専門医
 に受診するのがいいでしょう。日
 本人の約4〜5人に1人が不
 眠で悩んでおり、睡眠障害は国
 民病とも考えられています。不
 眠の背景にはライフスタイルの
 多様化、運動不足、アルコール過
 飲など不適切な睡眠衛生、心理
 的因子が介在しています。不眠
 の背景にうつ病が潜んでいる場
 合も多いと言われています。睡
 眠の異常はうつ病の病態生理学
 的機序と密接に関係し、不眠は
 うつ病の危険因子になることも
 指摘されており、予防的見地か
 ら健康管理において睡眠コント
 ロールは重要と思われまます。さ
 らに睡眠問題は大人のみならず

子どもにも広がっています。

睡眠時 無呼吸症候群と 生活習慣病

睡眠時無呼吸症候群は中年
 男性の約4%、女性の2%にみ
 られると報告されています。上
 気道の閉塞により、無呼吸が発
 生し、それに伴う低酸素血症や
 睡眠の分断化のため、日中に眠
 気をきたします。また、これらに
 よる交感神経活動の上昇は心
 血管系に悪影響をもたらし、高
 血圧・糖尿病・高脂血症などの
 生活習慣病と深く関連している
 ことが明らかにされています。

睡眠時無呼吸症候群では夜
 間血圧上昇・早朝高血圧・睡眠
 中血圧低下の欠如が見られま
 す。早朝高血圧は脳・心血管事
 故との関係で注目されています
 す。現在では睡眠時無呼吸症
 候群は脳心血管病のリスクファ
 クターのひとつと考えられていま

す。また、睡眠時無呼吸と心不
 全との関係も注目されていま
 す。心不全とは心筋障害によ
 り心臓のポンプ機能が低下し
 末梢臓器の酸素需要量に見合
 うだけの血液量を拍出できな
 くなる病態です。睡眠中のイベ
 ントが生活習慣病の背景に潜
 んでいる可能性が高く、心血管
 リスクとして睡眠時無呼吸症
 候群を見逃さないようにするべ
 きでしょう。

まとめ

24時間社会はストレスや睡眠
 時間の短縮、睡眠周期・質に変
 化をもたらし、ここからだ
 の健康に悪影響を及ぼしていま
 す。加齢によっても睡眠は変化
 します。日常生活を快適に過ご
 せるよう自分の生活に適した
 睡眠時間を保つことが健康長
 寿の秘訣と思われまます。



第3回

本棚から
社会を見る

私たちの暮らしを、より豊かに向上させてきた「科学」。しかしその発達は、
私たち人間を含めた自然界において、異質さを際立たせるものでもありました。
今年の3月に起こった東日本大震災による福島原発事故。
科学が明らかにした原子力の暴走から、私たちは何を学ぶべきなのか。
「科学のあり方」と原発関連本の読み方について、お話を伺いました。

今回のテーマ

「原発関連本」を 正しく読み解くために。



今回お話を伺った方



中部大学 生命健康科学部
生命医科学科

いとう やすひこ
伊藤 康彦 教授

昭和42年名古屋大学医学部卒業。血液内科医を目指すも挫折し、以後ウイルス感染症の研究に従事。名古屋大学医学部、国立予防衛生研究所や三重大学医学部と働き場所を変え、平成18年中部大学に赴任。最近では戦後の生物学思想について調べている。

—最近、本屋には
原発関連本がたくさん
並んでいますね。

東日本大震災による福島の原発事故以降、原発問題への世間の関心は非常に高まっています。そのため、いま原発関連本を読んでいる方が非常に多く、みなさんその内容に感心されているようです。確かに、内容自体はいいことが書いてあると思います。しかし、今回の原発事故以降、多くの科学者たちの発言が揺れているのです。以前は、ほとんどの科学者が原発は安全に設計されているから大丈夫だと発言しており、原発は危険だと指摘していたのは、ほんの少数の人たちで

した。しかも「原発を危険だ」と唱えてきた人たちは、まるで反体制運動の推進者のような捉え方をされています。それに開けず、今回の原発事故が起こった後、「原発は安全だ」と言っていた科学者が一斉に意見を変えて、脱原発を唱え始めたのです。いまはこれだけ情報の発達した社会ですから、その人が昔何を言っていたかは調べればすぐにわかってしまいます。同じ科学の基準で、原発事故の以前と以後とはこれだけ意見が変わってしまうのかと驚いています。今回の原発事故が科学の限界をより明らかにしたのではないかと思えますし、「科学のあり方」というものが、いま世の中に問われているのではないのでしょうか。

—「科学のあり方」とは、
どういったものなのでしょう。

私は、科学とは元々限界を持っているものだと思えます。たとえば自然科学は、この世の中の自然がどうなっているのかを説明することが目的ですが、自然というものは非常に大きく複雑に構成されていますので、複雑なまま見ていたら結果を明らかに

することができません。ですから、それを細かく切ってみたり一部分だけ取り出してみると、機械論的な解析方法で我々の科学は進歩してきました。現実的には、そういった方法でないと事実を明らかにすることができなかつたわけです。しかし、どう考えてもこの世の中は機械でできているとは思えません。私たちの科学や自然像は機械論的な解析方法で積み上げてきたデジタルなものであつて、元々のアナログで弁証法的な自然とは明らかに違うものだと思います。自然とは明らかに違ふものだと思います。自然という全体の中で、我々はほんの一部分しか知らないのだという謙虚さが必要です。そこを自覚せずに、いまわかつている学問だけで判断して原発は安全だと言ってしまうと、今回のような間違いが起こってしまうのだと思います。

—日本が原発を
推進していくに当たって、
もつといるんな
議論がなされるべきだつたとい
うことでしょうか。

実は、いま考えても当時から正論

を言っている人たちもいました。たとえば『安全性と公害 武谷三男現代論集5』という本の中に、1973年当時、原発の安全性について語られていたことが載っています。「冷却パイプがこわれて冷却効果がなくなったかどうか。それが重大事故の発端だ。化学工場でも一番こわれるのはパイプだ。タンクやタワーは仮に地震が起きても結構持つものなんだが、パイプは地中にあつても非常に強度がとりにくくて、いちばんやられやすい。だから、原発でいちばん怖いのは冷却水管の破断だ。これが破れて水がなくなつたら最後、急速に温度が上がつてしまふし、1分以内に次の手を打たないとウランの燃料棒が溶け、中から放射能のあるガスが、まづ出る。その、外へもれる量は炉内の放射性物質の20パーセントくらいはあるといわれる」と、まさに今回の事故のようなことが指摘されているのです。ということは、40年前にも原発の危険性を指摘してきた人たちは少ないながらもいたということであり、そうした人たちの声に耳を傾けてこなかつたということがわかります。やはり、科学だけに基づいて政策判断を

してしまふと間違いが起こります。原発の安全を唱えていた人たちの言っていることも全部は間違いではありませんが、それと原発をつくることとはまた別の問題です。科学的な判断は必要不可欠ではありますが、常にそれを超えたものを判断しているという視点、また科学は限界を持つたものだという視点を持つことが非常に重要になります。

原発関連本を読む際には、
原発事故以前と以後とを
比較して読んでほしい。

Book Review

伊藤康彦先生の

私の一冊



「科学論入門」

佐々木 力
岩波新書

書店では個別科学に関する本が山積みになっているが、科学を広い視点から考える書物は少ない。佐々木力の「科学論入門」は自然科学を総合的に把握するために格好の本である。この本は看護研修学校における講義に基づいているが、その聴講生の熱心さは大学での講義の受講者以上であったとのことである。私も弥富看護学校で年に1~2回講義をすることがあるが、久しぶりに勉強の機会を得た学生の授業に対する熱意には何時も感心させられる。看護師を対象とする講義ということで、物理・化学・生物学以外にこのような書物には珍しく医学や看護学も対象になっている。この本の特徴的な点は「科学技術論の医学史モデル」を提唱し、この医学の中に看護学を含めていることであろう。一読を勧めたい。著者の佐々木は「科学革命の構造」で有名なトーマス・クーンの弟子で、最近ではクーンの「構造以来の道」を翻訳出版しているので、これも一読を勧めたい。

―それでは科学の本を
読むときには、
どのような読み方をすれば
よいのでしょうか。

昔は科学概論や科学論といった、科学を広い視点で捉えた入門書のような本がよくありましたが、最近ではそれがあまり役に立たないという考え方もあり減ってきてしまいました。科学全体を考えるのではなく、個々の事実を考えるように歪曲化されているのです。特に自然科学の本を読むときには、知識をその本から学ぶことも大切ですが、それを正しく判断することがより大切になってきます。

そのためには、読者のそれまでの読書歴や知識などが大きく影響してくるわけですが、それが足りないこととあることはすべて間違いないことだと思ってしまうがちです。しかし、科学はそれほど単純なものではありません。科学というものを冷静に見ていくためには、やはり科学概論や科学論などの科学を広い視点でまとめた本を、時間軸を掘り下げて読んでいくことが必要です。

―原発関連本についても、 同様の注意が必要ですね。

先ほどもお話ししたように、福島

原発事故以前と以後とでは、多くの人がその意見を変えてしまいました。ですから原発関連本を読むときには、歴史的な経過で見ていくことがより重要です。具体的には、その筆者が原発事故以前に何を言ってきたのか、それに対して現在はどうなのか、ということをきちんと把握して読むべきです。幸いなことに、現在では昔の本も多くが復刻されて書店に並んでいます。原発事故後に書かれた本も大事ですが、事故前に書かれた本を読むことがもっと大事なことでだと思います。ただ注意しなければならぬことは、かつて原発を推進していた書物は、現在では、あまり表

に出いていなくて、いま書店に並んでいるのは原発を批判していた本ばかりだということです。ですから、原発の安全性を主張していた本を読もうとすれば、図書館などに行かなければなりません。それでも原発関連の本を読む場合にも、過去に遡って読んでいくことが大切です。是非、現在その本を書いている人が、以前にどんな本を書いているのか、どういった内容の発言をしているのかを時間軸で見えてほしいと思います。特に現在の原発関連本ブームは、そのように見てもらわれないと間違った受け取り方をしてしまうおそれがあると思います。

幸友会会員企業を訪ねて

会員企業
紹介

中部大学卒業生とともに、会員企業の魅力を紹介する「幸友会会員企業を訪ねて」。
現在活躍中のOBに、会社の特徴とご自身の仕事への想いを語っていただきました。

File01

東洋電機株式会社

[住所]〒480-0393
愛知県春日井市神屋町字引沢1番地39
[電話]0568-88-1700(代表)
[代表取締役社長]松尾 康男
[設立]1947年

<http://www.toyo-elec.co.jp/>



しみず じゅんいち
清水 純一さん

事業本部 営業部長 兼 海外営業部長
中部工業大学 工学部 電子工学科
1978年度卒業



事業内容

変圧器開発製造販売、受配電盤・制御盤設計製造販売、エンジニアリングシステム開発製造販売、エレベータ関連センサ開発製造販売、インテリジェント通信機器開発製造販売、光応用製品開発製造販売

経営理念

「高い企業倫理に基づき、人間性を尊重し、時代の変化に適切に対応しながら、共存共栄のもとに豊かな社会づくりに貢献する」

エレベータのドアウェイ上にある
障害物を検知する多光軸の赤外線による
「マルチビームセンサ」は、国内トップシェア。

ニッチ市場を見つけ、
独自の付加価値を
生み出す。

配電盤、変圧器の製造とメンテナンスをメインに事業をスタートさせた当社は、その技術領域を拡大しながら、現在では電子機器、変圧器、システムエンジニアリングという大きな3部門を柱に事業を展開しています。お客様が、潜在的に「あつたらいいな」と考えている細かい要望をうかがいながら、ときにはオーダーメイドのものづくりをおこなう。そうしたニッチ市場を見つけていく動きで、他社とは違う付加価値を生み出してきました。その中でも、いち早く「光」の技術に取り組み、情報伝送装置、情報表示器、エレベータ関連機器など、独自に開発した数多くの製品を各分野に送り出しているのが、機器部門。特にエレベータ用センサは、エレベーターメーカー大手5社への納入を筆頭に、国内でも70%以上のシェアを占めているほか、中国の南京にあるグループ会社でも製造・販売をおこなっています。

今後は中国を拠点に、
海外事業の足場固めを。

当社の3部門営業と海外事業の部長として、受注予算および利益予算の達成を目指しています。大学時代は人前で話すのが苦手だった私ですが、入社後半年で営業に異動して以来、30年以上にわたって営業職に携わってきました。この仕事の魅力は、多くのお客様との出会いや関わりを通じて、自分自身を高めていくことだと思っています。若い頃は自分のミスをお客様に助けてもらったこともありました。今では多くの部下と事業の未来を預かる立場。部下とともに数字をつくっていく喜びを感じながら、日々の業務に取り組んでいます。今後の目標は、海外事業を強化していくこと。昨今のさまざまな事情もあり、私どものお客様も次々と海外へ進出しています。まずは南京のグループ会社を拠点に、中国でのエレベータ関連機器事業を拡大し、海外における我々のポジションを固めていくつもりです。



リンナイ株式会社

[住所]〒454-0802
愛知県名古屋市中川区福住町2番26号
[電話]052-361-8211(代表)
[代表取締役社長]内藤 弘康
[設立]1950年(創業:1920年)

<http://www.rinnai.co.jp/>



いしかわ ふみのぶ
石川 文信さん

大口工場 工場長
中部工業大学 工学部 機械工学科
1981年度卒業



事業内容 熱エネルギー機器の開発・製造・販売

基本理念 品質こそ我が命

主要製品 厨房機器、給湯機器、空調機器、業務用機器

大口工場入口横には、ビルトインコンロやビルトインレンジをはじめとしたさまざまな厨房機器が展示されている。

世の中のコンロの
半数以上を
製造している責任。

マザー工場として、
海外での発展にも
貢献していく。

私どもリンナイ株式会社は、ガス機器をはじめとした熱エネルギー機器の総合メーカーとして、お客様に安全・安心かつ快適な暮らしをお届けすることを使命に、製造・販売をおこなっています。1920年の創業以来、快適に使っていただける製品づくりを心がけてきた弊社において、その品質が大きく進歩するきっかけとなったのは1971年のことでした。それまでは「火が点けばいい」程度に考えられていたガス機器に電子制御技術を取り入れたことで、空気量や燃焼状態のコントロールが可能となり、機能面や安全性がその後飛躍的に向上することとなったのです。おかげさまで今日では、弊社のガス機器、とりわけこの大口工場で製造している厨房機器のシェアは国内で50%を超えています。世の中のコンロの半分以上を製造しているという責任を真摯に受け止め、これからもより良い品質をお届けしていきます。

現在私は、派遣社員も含め900人を超す従業員を抱える大口工場の工場長を務めています。従業員およびその家族、またリンナイ製品を使っていたくすすべてのお客様に対する責任は重大なものではありますが、その分大きなやりがいも感じて日々の業務と向かい合っています。私自身、現在の要職に至るまで、11回の異動を経てさまざま部署・部門で経験を積ませていただきました。それぞれの現場で培ったノウハウや人とのつながりは、私にとって大きな財産です。またこの大口工場は、弊社における厨房機器のマザー工場として、海外事業の発展にも寄与していく使命があります。今後さらなる躍進の見込める東南アジアを中心とした海外市場におきましても、熱エネルギー機器のトップメーカーとしての地位を確固たるものとすべく、挑戦を続けていくつもりです。

掲載企業大募集!

中部大学幸友会会報誌幸友Vol.15は2012年10月末日発行予定です。ただ今、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を、紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会(中部大学渉外部内)

電話

(0568)51-1111(代表)
(0568)51-4740(直通)

File03



しげの とおる
滋野 徹さん

第2工場 食品工場 製造第1課 主任
中部大学 応用生物学部 応用生物化学科
2005年度卒業

イチビキ 株式会社

[住所]〒456-0018
愛知県名古屋市中村区新尾頭1丁目11番6号
[電話]052-671-9111
[代表取締役社長]中村 仁志
[創業]1772年

<http://www.ichibiki.co.jp/>



第2工場(東海市)



第2工場では、食品・つゆ工場として、多彩に使えるつゆをはじめ、豆と米関連食品など、さまざまな商品を製造している。

事業内容

みそ、即席みそ汁、しょうゆ、たまり、つゆ、みりん、食品等の製造販売

企業理念

私たち全員は、創業よりの「醸造の心」を引き継ぎ、安心・安全でお客様が満足される食品を提供し続けることで、より多くのお客様に信頼される企業の実現を目指します。

徹底したお客様志向で、
多様化するニーズに
お応えする。

東海エリアを中心に、みそやしょうゆ

などの製造販売をおこなっている

当社は、地域に密着した企業として

240年近い歴史があります。創業

当時から変わらず大切にしているの

は、品質を第一に考え、お客様に満足

していただけるよう、創意・工夫して

製品を提供し続けていくこと。ほぼす

べての製品を自社工場で製造してい

ることも特徴です。近年では、若い世

代を中心とした食の多様化もあり、

みそやしょうゆの需要は低下傾向に

あります。そこで当社では、以前から

ご好評をいただいているつゆのほか、こ

れまでのノウハウを活かした食品分

野にも力を入れていくことで、多様化

するニーズに対応。現在では約800

アイテムを取り扱っています。私たち

の製品は、お客様に選んでもらうては

じめて価値があるもの。他社に負けな

い品質を追求していくことで、よりお

客様に信頼していただける企業を目

指します。

大学で学んだ
プログラミングの知識で、
発注業務を改善。

大学時代は、卒業研究でプログラ

ミングを学びました。そこで身につけ

たスキルが仕事に役立つエピソード

があります。私は、第2工場で食品

製造ラインのリーダーを任されている

のですが、以前は加工に使う原料の

発注業務を社員が紙と電卓でおこ

なっていました。しかし、発注のミス

や漏れが多く、それによってラインが

度々止まってしまうことがあったので

す。そういったミスを改善するため、

私はエクセルを使用してパソコン上で

発注できるシステムをつくりました。

現場でそのシステムを使用するよう

になつてからは、発注のミスも随分と

減っています。また普段の業務では、

40名近いパートさんを管理していく

立場。パートさんに何かを頼まれたと

きには、できるだけすぐに対応する

ことを心がけ、逆に自分が何かをお

願いするときには、喜んで引き受けて

もらえるような信頼関係を築いてい

きたいです。

採用活動の変化に動じない、 本物の人材育成を。

2011年1月、日本経団連は「新卒者の採用選考活動の在り方について」発表し、企業の採用広報活動の開始日を学部3年/修士1年次の12月1日と決めました。早期化する採用活動を是正するために、ようやく重い腰を上げた印象です。そんな中、3月11日には東日本大震災が発生。震災被害による先行きへの不安感が、企業の採用活動にさらなる影響を及ぼしています。ただ、将来を託す人材の確保について、引き続き企業が危機感を持って取り組んでいるのは確かなこと。いまこそ、学生の就業力や社会人基礎力の養成、そして大学教育の成果が問われています。

企業が学生に求める人材像は、 より高度なものに。

日本経団連による採用活動時期の是正、東日本大震災の影響もあり、現時点での学生の内定獲得状況は昨年度と比べて遅れ気味です。同時期の数字を見ても、今年は約5ポイント低くなっています。震災や円高によって先行きが不透明になり、企業が採用を躊躇していることも原因として挙げられるでしょう。しかし企業が採用することは必要不可欠な課題。採用活動を取り巻く環境が変化しても、変わることなく試されているのは、学生自身の力です。昨年度より中部大学では、学生の社会人基礎力の向上を目指し、1年次の段階からキャリア教育をおこなっています。一言に就職活動と言っても、

準備をしておくかが重要だといえます。そして今年始め、採用活動時期の是正もありましたが、採用試験を受けるなどの具体的な就職活動は、きちんと学生生活を終えてから始めるのが本来のあり方なのです。従来からの日本の雇用形態は、4

月一括採用、終身雇用、年功序列という形ですから、企業はそれの中でできるだけ優秀な学生を採用しようとしています。さらに近年では、コミュニケーション能力を中心に、企業が学生に求める人材像はより高度なものになってきています。単にポテンシャルが高いだけでは不十分で、企業の採用担当者に対してきちんと能力をアピールすることができると、自己表現力も必要です。当然、自己表現をするにはそれだけの中身が伴っていないと、はなりません。本物志向の強い社会に認められる本物の人材を育成していく教育が、いま大学に求められているのです。

会社説明会に参加することや採用試験を受けることから、就職活動ではありません。自分という人間をよく分析したり、自分にはどんな職業が向いているかについて考えてみることも、広義に考えれば就職活動です。よって、1年次からすでに就職活動は始まっており、その間にどんな

2010年度の就職結果報告


学科名	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	求 人			就 職			幸友会会員企業就職		
			会社数(社)	人数(人)	求人倍率(倍)	会社数(社)	人数(人)	就職率(%)	会社数(社)	人数(人)	会員への就職率(%)
機 械 工 学 科	156	131	5,715	5,730	43.7	117	126	96.2	42	49	38.9
電気システム工学科	68	59	5,611	5,623	95.3	57	58	98.3	18	18	31.0
電子情報工学科	75	58	5,382	5,386	92.9	55	55	94.8	13	14	25.5
都市建設工学科	39	33	5,230	5,243	158.9	30	32	97.0	9	12	37.5
建 築 学 科	124	104	5,230	5,238	50.4	87	93	89.4	15	15	16.1
応 用 化 学 科	53	41	5,091	5,093	124.2	36	39	95.1	7	9	23.1
情 報 工 学 科	90	55	5,135	5,137	93.4	46	52	94.5	9	13	25.0
経営情報学科	135	105	5,315	5,317	50.6	93	102	97.1	15	18	17.6
経 営 学 科	134	108	5,303	5,306	49.1	100	106	98.1	11	14	13.2
経 営 会 計 学 科	2015年3月卒業予定										
国際関係学科	61	47	5,178	5,180	110.2	43	44	93.6	8	8	18.2
国際文化学科	35	19	5,160	5,162	271.7	17	17	89.5	1	1	5.9
中国語中国関係学科	2013年3月卒業予定										
日本語日本文化学科	72	57	5,126	5,128	90.0	47	52	91.2	3	3	5.8
英語英米文化学科	60	46	5,140	5,142	111.8	41	43	93.5	6	6	14.0
コミュニケーション学科	51	40	5,184	5,186	129.7	38	39	97.5	5	5	12.8
心 理 学 科	67	52	5,109	5,111	98.3	42	44	84.6	1	1	2.3
歴史地理学科	68	50	5,097	5,099	102.0	43	44	88.0	7	7	15.9
応用生物化学科	110	80	4,939	4,943	61.8	66	70	87.5	7	7	10.0
環境生物科学科	114	88	4,906	4,908	55.8	78	81	92.0	9	10	12.3
食品栄養科学科	67	54	4,847	4,849	89.8	40	44	81.5	2	3	6.8
生命医科学科	40	28	4,848	4,852	173	24	25	89.3	3	4	16.0
保健看護学科	107	101	4,995	4,997	50	52	101	100.0	0	0	0.0
理学療法学科	2014年3月卒業予定										
作業療法学科	2014年3月卒業予定										
臨床工学科	2014年3月卒業予定										
スポーツ保健医療学科	2015年3月卒業予定										
児童教育学科	2012年3月卒業予定										
幼児教育学科	2012年3月卒業予定										
合 計	1,726	1,356	108,541	108,630	80.1	1,152	1,267	93.4	191	217	17.1

大学と企業が協力して、人材育成をおこなっていく。

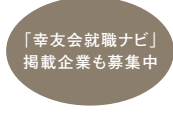
一方で、企業側としても、学生たちの能力をきちんと見極めることが重要になってきます。しかし、採用試験だけでその判断をおこなうのは、実際には困難なこと。そこで、大学と企業が連携を図り、早い時期からともに人材育成をおこなっていくような発想があってもいいと考えています。具体的には、1年次からの企業訪問やインターシップを通して、企業側からもどんな学生が育っているのかを随時確認できるような環境をつくる。その際、大学教育について気になることがあれば、どんどん意見を言っていたらいい。そして、そこで培った関係をその後の就職活動にも活かしていく。そうした環境づくりは、学生にとってメリットがあるだけでなく、企業側の採用活動においても、短時間の試験だけで学生を判断するより、ずっと合理的で信頼性の高いものになるのではないのでしょうか。

採用担当者様へ

求人に関するご相談やお問い合わせは、
キャリアセンターまでお気軽にどうぞ。



中部大学キャリアセンター
TEL.0568-51-1111(代表)
0568-51-4184(直通)
FAX.0568-51-1982
E-mail:syusyoku@chubu.ac.jp



中部大学幸友会事務局
TEL.0568-51-4740(直通)
<http://www.chubu.ac.jp/koyunavi/>
(幸友会就職ナビ)

「幸友会就職ナビ」掲載企業も募集中

係を築いていくことが理想です。今後、各学部の教員が企業に足を運ぶことで、教育、採用面での協力を結び付けていく動きを大学全体で進めていきたいと考えています。親交のない企業に訪問するのは難しいですが、中部大学には幸友会がありますから、そうしたつながりを活用させていただきたいと思っています。ですから企業の皆様には、企業訪問やインターシップでの受け入れのご協力、また教員が伺った際には大学教育に対する期待や提言などを遠慮なく言っていただくことをお願いいたします。

第23期 中部大学幸友会総会・講演会

第23期 中部大学 幸友会総会報告

震災の悲しみに暮れることなく、次なる一步を力強く踏み出す。

平成23年4月27日(水)、名古屋東急ホテル・パロックの間にて、「第23期中部大学幸友会総会」が開催されました。総会の1カ月半前には、東日本大震災が発生したこともあり、参加者の間では震災について語り合う場面が見受けられましたが、その多くは被害を悲観するに留まらず、今後を見据えた前向きな発言も目立っていました。

厳しい逆風にも負けない、 力強い挨拶と報告。

厳しい状況が続いていた経済環境が少しずつ緩和傾向に転じた矢先、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われた直後の開催となった第23期幸友会総会。新たに会長に就任された松尾隆徳氏の「中部大学と我々地域の企業が手を取り合って、この地方の産業発展をリードしていきたい」という、頼もしい抱負で幕を開けました。

続く山下興亜学長からは、今年度新たに設置された「経営会計学科」と「スポーツ保健医療学科」の紹介、自身が室長を務めるデイプロマ戦略室の取り組みと今後の展望など、ますます力強く歩を進める中部大学の現況が報告されました。さらには、第22期事業報告・収支報告と第23期事業計画・収支予算報告がおこなわれ、前幸友会長の清水勲氏よ

り、会員企業の皆様にお礼の挨拶がなされました。

総会終了後は、日本を代表する造園家であり、環境問題を中心に産業界、経済界でも幅広く活躍されている涌井史郎氏による講演会を開催。「環境に対する企業の取り組みについて」を演題に、私たちの生活に切っても切り離せない「環境」という問題を、幅広い見地と角度から考察。今後、環境問題を新たなアプローチで考え、行動に移していく必要性を説かれました。

最後に、会場を移しておこなわれた懇親会では、終始和やかなムードのなか、大学と会員企業、あるいは会員企業間の交流が図られました。



新会長に就任した
松尾隆徳氏。

プログラム

■総会(午後4時00分～)
開会
会長あいさつ
学長あいさつ
報告:理事会・評議員会の
審議事項の報告

■講演会(午後4時50分～)
[演題]
環境に対する企業の取り組みについて
[講師]
造園家、中部大学教授 涌井 史郎氏

■懇親会(午後6時20分～)

中部大学幸友会 新役員

新相談役
株式会社清水屋 取締役社主相談役
清水 勲

新顧問
あま市長
村上 浩司

新会長
春日井商工会議所 会頭
東洋電機株式会社 代表取締役会長
松尾 隆徳

新監事
リンナイ株式会社 代表取締役副会長
林 芳行
(敬称略・2011年4月27日現在)

第23期 中部大学幸友会事業計画

1. 総会・理事会・評議員会の開催
2. 学術文化興隆のための事業として講演会、研修講座の開催と中部大学公開講座の後援及び中部大学キャンパスコンサートへの協力
3. 学園が行う地域交流を支援、促進するための事業
4. 2012企業ガイド・幸友会就職ナビの作成及び中部大学学内企業説明会協賛
5. 会員相互の親睦と啓発のための事業
6. 産学官連携協力事業
7. 幸友会会報「幸友」の発刊
8. 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内及び中部大学定期刊行物等の配布
9. 中部大学開学50周年事業への協力
10. その他(本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

第22期 中部大学幸友会事業報告 (一部抜粋)

平成22年	11月
4月	10日 第6回幸友会講座(インターンシッププログラム)開催(中部大学)
8日	10日 第5回中部大学ライフサイエンスフォーラム参加(三浦幸平メモリアルホール)
28日	12日 中部大学幸友会会報「幸友」Vol.13 会員に配布
5月	24日 第14回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
26日	26日 役員研修会(半田・知多)
6月	27日 第67回中部大学キャンパスコンサート 後援「熊代治子 ピアノリサイタル」(三浦幸平メモリアルホール)
30日	27日 第67回中部大学キャンパスコンサート 後援「熊代治子 ピアノリサイタル」(三浦幸平メモリアルホール)
7月	平成23年
1日	1月
21日	8日 第7回中部大学音楽祭 後援(名古屋市公会堂)
28日	14日 2011企業ガイド発刊・就職ナビの開設
28日	26日 第15回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
28日	2月
30日	14～16日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
9月	23～25日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
15日	3月
18日	2日 平成22年度中部大学総合工学研究所研究発表会 参加(中部大学)
10月	10日 平成22年度中部大学産業経済研究所研究発表会 参加(中部大学)
2日	
6日	
14日	
14～15日	
27日	

第23期
総会講演ダイジェスト
日時:2011年4月27日(水)16:50~
会場:名古屋東急ホテル3階

〔演題〕

環境に対する 企業の取り組みについて

〔講師〕造園家／中部大学客員教授

涌井 史郎氏
わくい しろう

いま、世界は
環境革命の時代へ。

天からの啓示が与えられたと理解しています。

生物資源こそが
未来を救うカギ。

私たち人類にとって、農業革命に次ぐ第二の革命である産業革命も終焉を迎え、いま、世界は環境革命という新たな方向へと移りつつあります。しかし、資源の限界が見えてきた以上、環境へのアプローチを単なるトレンドで捉えることはできません。今年の3月11日、東北で起こった未曾有の大地震。4県33市町村にわたる津波による大きな被害と、それに加えて福島原発の事故。私はこれらの事柄が、自然の力と我々の文明力のせめぎあいの結果だったのではないかという気がしてなりません。「いまこそ、そのリミットからいかにして持続可能な社会をつくっていくかを考えていく必要がある」と、

リミットの二つ、それはエコロジカル・フットプリントという考え方に表れています。各国の国民が、どのくらい地球の「生物資源」を消費しているのか、またそれを元に戻すにはどの程度の面積が必要かを目安にしたものが、エコロジカル・フットプリントです。これによると、すでに地球は一つでは足りず、もし今後、人口が増えることなく世界中の人が日本人と同じ生活をしたとしたら、地球は2・4個必要になります。さらにもう一つのリミットが、「地下資源」です。今後相当のイノ





ベーシジョンがない限り、今の地下資源依存型の社会は崩壊するでしょう。今後20年〜40年の間に、石油などほとんどの地下資源がピークを迎えてしまうからです。そうなる前に私たちはいま、何を未来に遺すべきでしょうか。それは、生物資源にならざるを得ません。加えて、動物、植物、昆虫など自然から学ぶこと、つまりネイチャーテクノロジーが重要になります。自然や生き物の持つ低環境負荷かつ高度な機能から学び、科学技術や産業に応用していく。そこが、私たちが着目すべき点といえます。

再び都市と自然が、呼吸をとにもするべき。

日本は元々、大雨や台風が多く、おまけに地震国です。日本の陸地面積は世界の0.25%ですが、この20年、世界で起きたマグニチュード6以上の地震の2割は、日本で起こっています。このような大変厳しい状況だからこ

そ、日本人は自然の力を「いなくす」という知恵をつけてきました。自然を読み解き、逆らわず、忍従の心で自然と付き合ってきたのです。その結果、耐震工法や土木技術など、多くの匠の技を生み出しました。常に自立循環的な国土をつくり、生態系サービスを受容できる環境を整えてきたのです。しかし第二次世界大戦後、マッカーサーが日本にヘンリー・フォードのモデルを持ち込みました。そのモデルとは、都心で働き、郊外に住み、その間の移動を自動車で結ぶというもの。ヘンリー・フォードは自動車をつくただけでなく、郊外開発をおこなうことで、自動車を売るためのビジネスモデルもつくったのです。このモデルが持ち込まれたことで、結果として都市の格差が生まれ、エネルギーの巨大な需要を生み出しました。ですが、今回の震災後の節電により、私たちが今までいかにムダ遣いをしてきたかを知り、いい機会になったのではないのでしょうか。そして世界はいま、環境負荷を拡大していく方向から、集約

していく方向にシフトしています。つまり、社会と経済と環境、これらを一体化したコンパクトシティをつくっていくということなのです。

環境革命に合わせた新しいしあわせのモデルを。

では、環境革命下の震災復興はどうあるべきでしょうか。これまではさまざまな機能を中央に集中し、そこから全国へ機能分担する「リング型」の考え方でした。しかしその結果、今回の震災を含め、こういった方法をとった企業はことごとく大きな痛手を負っています。そこで私が提唱するのは、それぞれの地域に自立した機能を持たせる、多極分散の「ブドウ型」です。このブドウ型は、一つひとつの地域が自立しているの

で、どこかの地域に何かがあったときも、全体の被害は少なく済みます。元々、こうした国土構造を日本人はつくってきたのです。そこに立ち返るべきです。極論を言えば、「廃県置藩」をし

て、もう一度県から藩に戻すということ。分節型の地域構造をつくり、もしものときのダメージを分散させる。さらに、それぞれの地域でそれぞれの産業に則したクラスターをつくり、そこにみなさんが安心安全に住める住まいを提供する。コンパクトシティをつくる。そうやってこの復興を、環境革命に合わせた新しいしあわせのモデルにしていくことが、これから重要なことだと考えています。

そして、自然をいなししていく術を身につけている我々日本人がその知恵を発揮して、いかに新たなイノベーションを起こすか。それが、これからの私たちに問われている姿です。

Profile



涌井 史郎氏

1945年鎌倉市生まれ。東京農業大学農学部造園学科卒業。ハウステンボス、全日空万座ビーチホテルなどのランドスケープデザイン、都市計画を手がける。日本造園学会賞、国土交通省大臣賞等、受賞歴多数。2005年に開催された『愛・地球博』で会場演出総合プロデューサーを務めたことをきっかけに中部大学へ。数多くの国・自治体・法人の委員、テレビのコメンテーターとしても活躍中。

幸友会会員企業から中部大学生へのメッセージ

幸友会講座ダイジェスト

2010年11月10日(水)開催 [インターンシッププログラムとして]

演題

「働くこと」と「就職」を考える…
「働くことへの実感」とは

講師

まつお やすお
松尾 康男氏
東洋電機株式会社
代表取締役社長

どの会社に入るかではなく、
その会社で何をするか。

学生のみなさんは働いた経験がありませんから、働く実感といわれてもなかなかわからないと思います。しかし働く上で大切なのは、どこの会社に入るかではなく、会社に入って「何をするか」です。その答えがあれば、充実した仕事人生が迎えられるはずです。就活中、誰もが自分の価値観と一致した仕事を見つけたいと思いますが、現実的には妥協しなければならないことが多々あることを、就職の面接で実感されると思います。就職とは、人生でみなさんが初めて自分の将来を自分の責任と権限で決定して、その結果に責任を持つことです。そして就職の本質は、「働くことへの実感」を感じることです。仕事は、自分にしかできない、あるいはほかの人でもできるという「代替性」によって面白さが変わってきます。職業には貴賤はありませんが、面白さには確実に格差が存在します。仕事を「楽しむ」ことができるかどうか分かれ道です。「他の人が欲しがるような人生を、あなたも欲しがりたい」という人生観を受け入れていては、幸せにはなれません。「本当に自分がほしいもの」を手に入れて、初めて人生は豊かになります。自分の人生を自分で切り開いていくことが、今のみなさんに求められているのです。

2010年10月27日(水)開催 [インターンシッププログラムとして]

演題

会社のしくみと私の立ち位置

講師

きはら ゆきこ
木原 由起子氏
株式会社INAX
総合技術研究所 空間技術開発室UDグループ

どんな仕事の先にも
お客様がいることを心の支えに。

バリアフリーは、障害を持っている人を対象にしている一方、ユニバーサルデザイン(UD)は、子どもからお年寄りまでさまざまな人が利用できるように環境をデザインすることです。なかでも私は、ユニットバスやトイレなどを、実際に障害のある方にご協力いただき、どうすれば使いやすくなるかを研究しています。UDの観点から考えて対象を広げると、専門的な知識が必要になります。たとえばオフィスビルのトイレをつくる時や介護認定を受けた人が住宅改修をおこなう場合などは、バリアフリー新法、介護保険法などの法律の知識が必要です。メーカーとして対象の拡大は良いことですが、いろんな要望を抱えている人に細かく対応することは、面倒なことと思うかもしれません。しかしそこは長い目で見て、目先の価値だけで判断せず予測してほしいのです。10年で社会環境はガラッと変わります。さて、この先みなさんが就職して、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時に心の支えとして持っていてほしいのは、どんな仕事の先にもお客様がいるということ。そして仕事の価値を知っているのはそのお客様です。そういう人たちからパワーをもらえる仕事を目指してぜひ頑張ってください。



幸友会会員企業が中部大学生に向けて、学ぶ目的や働く意味などを説く幸友会講座。学内で開催され、毎回多くの学生が参加しています。講演後は、学生から仕事や働き方などについて多くの質問が出るなど、職業観を育む良い機会となっています。

※所属・役職は講演当時のものです。

2011年6月21日(火)開催 [キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題

将来社会人となる皆さんに 今伝えたいこと②

講師

おおつぼ かつとも
大坪 勝智氏
東春信用金庫
高蔵寺支店 支店長

自分の好きなことか得意なこと、そのどちらかを仕事にしてほしい。

私は1995年に中部大学工学部工業化学科(現・応用化学科)を卒業し、東春信用金庫に就職して今年で16年目になります。理系の人間がなぜ金融機関へ?と、不思議に思う方もいるかもしれませんが、私が現在の就職先を選んだのは、自分の好きなことで得意なことでもあった数学を活かせる仕事がしたいと考えたためです。家庭を持っている社会人に話を聞いてみますと、好きでも得意でもない仕事を家族のために我慢してやっているという人が意外と多い。しかしみなさんには、是非とも自分の好きなこと、得意なことのせめてどちらかを仕事にしてほしいと思います。新卒で入社して、半年や一年もしないうちに、会社を辞めてしまう人が多いという現状。私はそのことをとても気の毒に思っています。せっかく大学で4年間準備して、頑張って就職活動をした末に入った会社を、わずか数カ月で辞めてしまう。もう少し自分の好きなこと、嫌いなことを、よく考えられなかったのかなと思うのです。そうならないために準備できることの一つとして、日頃から自分の好きなことと得意なことをよく考えて生活すること。今のうちからそれらを考えておくだけでも、今後の就職活動において必ず役に立つと思います。

2011年6月7日(火)開催 [キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題

将来社会人となる皆さんに 今伝えたいこと①

講師

ほらだ のぶお
原田 伸郎氏
東京海上日動火災保険株式会社
名古屋営業第2部金融公務室 公務統括課長

自ら考え行動する実行力を
学生時代のうちに身につけて。

学生時代にしてほしいことの一つ、それは目標を立ててチャレンジすることです。そしていろいろなものに触れてたくさんの人と接する機会をつくり、視野を広げることに努めてください。自分が語ることでできる話題の豊富さは、そのまま人間の厚みにつながります。知識だけしかない人と、経験がある人では全然違います。時間を有意義に使い、今しかできないことに取り組んで、感性を磨きあげることも大切です。企業は、採用時に学生がどれだけ多くのことを入社後に学び、成長できるかの資質を見極めています。みなさんが企業選択していく中で、企業はどんな人材を求めているかをよく見てください。そしてそういった人材になるために今できることは何かを考えましょう。企業が求めている人材は、ビジネス環境の変化にともない変わってきています。以前のようなモノをつくれれば売れた右肩上がりの時代から、今は、競争が激しく、消費者ニーズも高度化している成熟したビジネス環境になりました。このような時代では、トップダウンではなく、現場の第一線でお客様と直接接している営業が、いかに自ら考え行動するか、そこで感じたことをいかに上へあげていくかということが必要になっています。

メンバーズサロン

Member's Saloon



メンバーズサロンは、
幸友会会員企業の皆様から寄せられた
原稿をご紹介します投稿コーナーです。
今回も、人生訓や仕事への熱い思い、
時代の狭間で揺れる気持ちなど、
皆様のお人柄が垣間見える原稿が揃いました。

投稿募集

メンバーズサロンでは、会員の皆様からの原稿を募集しています。テーマは自由です。日頃思っていることや趣味のこと、昔の思い出話や体験談、エッセイや人生訓など、短文でも構いません。文字数は600字程度で、タイトルをつけてお寄せください。また、本文に関するお写真等がございましたら、一緒に幸友会事務局までお送りください。ご応募をお待ちしております。

一本のシュートを決める。そこに至るまでのプロセスが大事である。私は、学生時代ハンドボール部に所属していた。試合の中で一本でも多くシュートが決められるよう、仲間とともに切磋琢磨しながら毎日汗を流していた。試合における様々な場面をシミュレーションする。だが、どの役割を担い、どう動くのか。スクリーンをかける、ドリブルで突破する、フェイントをかける、シュートを決める。効率良く得点をとっていくには、どうしたら良いのか。仲間とともに常に効果的なフォーメーションを考え、練習に没頭していた。試合の中で一本のシュートには、練習の際の仲間の気持ちが全てこもっている。「練習で出来なかったことが、試合で出来るはずがない」これが、私のハンドボールを通

して得た信条であり、現在の私の行動指針ともなっている。
市の政策を実行していく、この点においてもハンドボールと同じことが言える。「平時の議論、有事の団結」様々な事象を検証し、そのデータを基に徹底的な議論を積み重ね、政策を練り上げていく。このプロセスをおろそかにすると政策の実行段階(試合)でほころびが生まれる。それぞれの持ち場におけるメンバーの役割分担(フォーメーション)を決め二度決定した内容については、みんなで団結してその政策の実行に全力を尽くす。一つの政策を実践していくことは、二本のシュートを決めることと同じである。一つの政策(二本のシュート)にみんなの気持ちを込める。それが、市民の幸せにつながっていくと確信している。

シュートに込める気持ち!

多治見市長

ふるかわ まさのり
古川 雅典

夢・目標の実現

株式会社アオキスーパー代表取締役社長

宇佐美 俊之
うさみ としゆき

今年3月11日に発生した東日本震災以後、スーパーマーケットの売場は、水・米・カップ麺・缶詰・ヨーグルト等の欠品が続出しました。私が、この業界に入って、初めて体験した出来事でした。商品の正常な流通へ戻るには、数か月を要しました。今まで、供給過多・オーバーストアーの状況から一変し、需要に供給が追い付かない状況が続き、お客様に大変ご迷惑をおかけしました。

いつも、当たり前におこなっていたことが、いかに大切に重要な事業であったかを知り、また、我々食品スーパーは食のライフラインの重要な一翼を担っていることを痛感しました。

世界経済はリーマンショック以降、停滞し日本経済も混迷を極めています。

そんな時に、マネジメントを究明し、マネジメントの父と言われてますドラッカーの著書を「主役」にした、『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』の小説「アニメーション・映画が大ヒットしました。私も、社長就任後、ドラッカーの書籍を読みましたが、自分の疑問を解決してくれる指南書になっています。

事業とは「顧客の創造」にあり。マネジメントするには、目標が必要である。本業において社会貢献し、働く者の自己実現の場となり、社会に役立つことが大切である。等々我が社の従業員には、自分自身の夢・目標を持ち、その実現が生きがいやりがいに繋がると話しています。私自身も、社会貢献のため努力し続けたいと考えています。

電子書籍と紙の本

丸善株式会社 名古屋支店長

嶋田 敏明
しまだ としあき

電子書籍元年といわれた2010年、その少し前から英和、独和といった辞書・辞典類は電子辞書に置き換わってきています。いわゆる“読む”ではなく、“引く”という動詞を用いる書籍です。“読む”書籍においても、実はこれまでも電子書籍時代到来と謳われたことが幾度かありました。しかしデバイスの操作性、バッテリーの持ち、コンテンツの流通等の問題から成功には繋がりませんでした。

「2Dfacto(トゥ・デイファクト)」を2011年1月より開設いたしました。「2Dfacto」は、紙と電子のハイブリッド型総合書店をめざしてゆきます。

しかし今回の「電子書籍元年」は、「iPad・Kindle、スマートフォン等の最新デバイスの性能、ネットを使ったコンテンツの配信、代金の決済、あらゆる角度から見ると条件は揃ってきたように感じます。丸善CHIGループもドコモスマートフォン等向け電子書籍ストア

常に取り上げられる紙か電子かの議論は、いきなりゼロか100かといったものではなく、共存する中で時間をかけてその割合が変わってゆくと思われます。少なくとも数年前にはゼロに近かった電子書籍のマーケットが確実にその割合を増やしてきています。提供する側としては、あらゆるニーズに対応できるようにしたいと考えますが、一読者としては、指をなめて頁をめくる楽しみや、書架に並ぶ背表紙を眺める所有感の喪失に一抹の寂しさを感じます。

中部大学フェア2011

—産官学連携・人づくり・ものづくり・ゆめづくり—

2011年8月26日(金)、中部大学フェア2011がおこなわれました。

7回目となる今回は、急速な発展により拡大を続ける中国市場へ、日本企業が進出する

ポイントを探ることをテーマとしたシンポジウムを開催。

その後は体育館にて、中部大学と企業、自治体、地域団体の皆様による知的財産の交流がはかられました。

シンポジウム

テーマ:「巨大市場—中国への挑戦」

会場:三浦幸平メモリアルホール

中国における環境問題の現状と期待される対策技術



講師 董 文博氏

復旦大学 潤華持久性有機物研究センター所長

中国最大の都市である上海を取り巻く環境問題のこれまでと現状、また今後の対策や取り組みについて報告しました。

中日企業の架け橋としての日本センター設立と今後の展望



講師 趙 建夫氏

同済大学 前副学長 汚染制御資源化国家重点実験室所長

深刻な中国の環境問題を報告し、環境分野において成熟した技術を持つ日本の企業が進出するチャンスがあることを指摘しました。

中国のエネルギー問題とそれに直面する巨大市場



講師 吳 家正氏

同済大学 機械工程学院教授

今後、中国の省エネ分野、環境保護分野には多くの技術ニーズがあり、日本企業との協力、交流が望まれることを解説しました。

中部地域からの海外展開における課題と展望

講師

紀村 英俊氏

経済産業省
中部経済産業局長



従来、輸送機械の製造とその輸出によって発展してきた中部地域の経済は、為替や国際問題などの影響を受けやすい脆弱な産業構造。そうした「一本足構造」から脱却し、多様な産業によ

って世界市場で勝負する「ハケ岳構造」の構築が急がれていることを指摘した紀村氏。「中部地域に存在する高度なものづくり基盤技術の集積を行政経営のベースとして、急激な社会構造、産業構造の変化に対応すべく、オリジナルの成長戦略を展開する必要がある」と述べました。その一環として、海外への情報発信力を高め、新しいビジネスチャンスを創出することを目的に、産官学が連携しておこなっているグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ活動。紀村氏自身も委員を務めているこの活動について、「中部地域は日本のものづくりの中核であり、まだまだ潜在能力を持っている。この地域が頑張ることで、日本経済を引っ張っていかねばならない」と語り、さらなる発展へのビジョンを掲げました。

特別企画

会場:体育館



地域産業を支える人材育成・確保について

講師

壁谷 勢津子氏

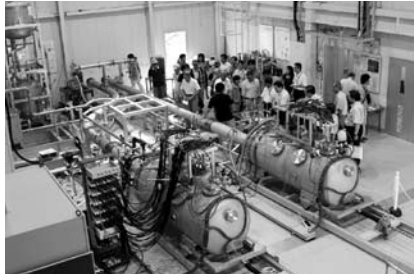
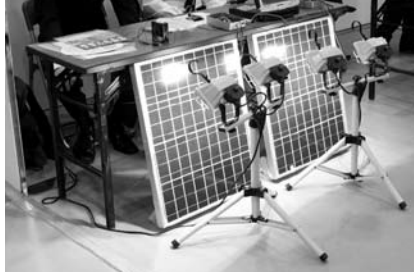
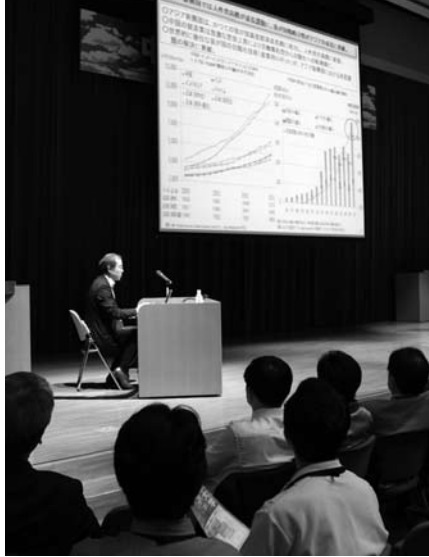
経済産業省中部経済産業局
産業人材政策課長

中部地域の優れたものづくり技術を活かし、より効果的な産業構造を構築するため、中部経済産業局が推進している中部地域「ハケ岳構造」創出戦略。新たな成長を実現するため、そのハケ岳構造の基盤となる人材育成の必要性を語った壁谷氏。地域課題の解決に貢献する中核的な役割を果たす人材や、一層結びつきを強めている海外経済との関係を支えるグローバル人材を育成するプログラム、またそれらに求められる社会人基礎力の養成や、さらには雇用のミスマッチを解消するための施策等を紹介しました。

次回も
乞うご期待!



かも丸
(美濃加茂市)



セッション

ブース形式による研究シーズ紹介

会場:体育館

中部大学全学部の研究者の技術シーズを、ブース形式で紹介。各ブースで熱心に話を聞き入る姿が見られました。

健康相談コーナー

会場:体育館

生命健康科学部が、体組成測定、動脈硬化評価等をおこない、皆様の健康に関するご相談に応じました。

栄養相談コーナー

会場:体育館

応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻が、簡単な食生活チェックにより、バランスのとれた食事のとり方や食事療法について栄養相談を承りました。

技術相談、知的財産相談コーナー

会場:体育館

中部大学専属のコーディネーター8名を会場に配置し、企業様からのご相談を承りました。

交流コーナー

会場:体育館

ご来場者の皆様と中部大学の研究者とが、自由に意見交換をおこないました。

「超伝導実験施設」見学会

会場:藤原洋記念 超伝導・持続可能エネルギー研究センター

キャンパス内に設けた直流超伝導ケーブル試験装置を、超伝導直流送電実現のための取り組み紹介と併せて解説しました。

高校生理科分野の自由研究発表会

会場:体育館

参加した高校生たちが、企業関係者や大学関係者に向けて、研究発表・プレゼンテーションをおこないました。

ミニ講演会

会場:体育館

国際関係学部

無人島大国・日本

講師:加々美 康彦 国際関係学科 准教授

無人島をめぐる国際情勢の紹介と、フロンティアの開発、利用など日本と無人島について考察。

経営情報学部

東日本大震災後の産業・企業

講師:早野 利人 経営情報学科 教授

震災後の諸課題を検証し、日本再生の原動力ともいべき「日本の産業・企業」の未来を考察。

生命健康科学部

血液浄化療法について

講師:福田 信吾 臨床工学科 講師

人工透析治療の基礎的なことから原理、手技などの現状、血液浄化療法の実際を紹介。

人文学部

新聞は生き残れるか?

—東日本大震災の教訓に学ぶ—

講師:水野 雅夫 コミュニケーション学科 教授

大きな曲がり角を迎えている新聞の未来を、東日本大震災という危機に見せた新聞の動きを通して考察。

工学部

H23・3巨大津波による海岸保全施設の被害調査からの学習

—近づく巨大津波の来襲に備えて—

講師:岩田 好一朗 都市建設工学科 教授

東北地方太平洋沖地震津波の実態を考究し、この地方に巨大津波が来襲した場合の被災規模を予想。

現代教育学部

辞書は友だち

—国語辞典で頭を鍛える—

講師:深谷 圭助 児童教育学科 准教授

国語辞典を使い、身近な言葉を学ぶ習慣を育てる「辞書引き学習」の考案者が、直接その奥義を伝授。

応用生物学部

卵の栄養・調理・健康機能

講師:小川 宣子 食品栄養科学科管理栄養科学専攻 教授

卵の栄養成分の特徴、「おいしさ」に関わる調理機能、健康に関する機能について紹介。

Event Information

イベントのご案内

2011春日井市民第九演奏会

日時 2011年12月4日(日)PM3:00開演(PM2:00開場)

会場 春日井市民会館

入場料 全席自由1,000円

■曲目

ベートーヴェン 交響曲第9番
二短調 作品125「合唱付」

[指揮] チョン・チュン

[ソプラノ] 二宮咲子

[アルト] 三輪陽子

[テノール] ハ・ソクベ

[バス] キム・ミンスク

[管弦楽] 春日井市交響楽団

[合唱] 春日井市民第九合唱団

■お問い合わせ

春日井市民第九演奏会実行委員会
(中部大学 渉外部内)

TEL.0568-51-1111



第17回企業経営講演会

日時 2011年11月30日(水)PM5:00~

会場 中部大学名古屋キャンパス

講師 川村 二郎氏(文筆家・元「週刊朝日」編集長)

演題 「これでいいのか日本～世相を斬る～」

現在、文筆家として活躍されている元朝日新聞記者の川村二郎氏。朝日新聞と週刊朝日で働いた37年間の記者生活から見てきた日本の過去・現在・未来を語っていただきます。

川村二郎氏の
本音トーク、ぜひ
お聴き逃しなく。



第16回企業経営講演会の様子。

学内企業説明会

日時 2月15日(水)～17日(金) ▶ 場所:体育館

2月22日(水)～24日(金) ▶ 場所:三浦幸平メモリアルホール



各企業の皆様には、毎年多くのご参加および求人をお寄せいただき大変ありがとうございます。来年度に卒業予定の現3年生を対象とした「学内企業説明会」を今年度も開催いたします。

■お問い合わせ

中部大学キャリアセンター TEL.0568-51-4184

第8回中部大学音楽祭

日時 2011年12月17日(土)PM3:00開演(PM2:15開場)

会場 名古屋市青少年文化センター アートピアホール

入場料 一般1,000円、大学生以下500円、全自由席

中部大学の5つの音楽系サークルが、日々の練習の成果を披露する年に一度のチャリティーコンサート。今回は、東日本大震災復興への願いを込めて開催。また、ピアニストの水村さおりさんが賛助出演いたします。ぜひご期待ください。



第7回中部大学音楽祭の様子。



「民族資料博物館」 リニューアルオープン。

2011年4月27日、これまで附属三浦記念図書館内に設置していた民俗資料室が「中部大学民族資料博物館」としてリニューアルオープンしました。今までの収蔵資料にシルクロードや中南米地域に関連した新たな歴史資料を加えて、大学博物館へと拡充。常設展示は、シルクロード室と地域研究エリアの大きく2部構成に分かれており、シルクロード室には、シルクロード文化圏に関わる資料とともに、コインコレクションや絵画研究作品等を展示。地域研究エリアは、世界の民族資料を主に5つのエリアに分けて、「生業」「食」「祭礼」をキーワードに、各国の生活の様子を比較して鑑賞できるように展示しています。大学へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



開館時間
午前9時30分～午後4時30分
(入館は閉館の30分前)

休館日
土曜・日曜・祝日・年末年始・
大学が定める休日
(※行事開催日は開館予定)

入館料
無料

■ 秋季展示
「シルクロード企画
～カシミアショールとペイズリー文様」

■ 期間
2011年11月15日(火)～2012年1月13日(金)

■ 場所
民族資料博物館 多目的室、シルクロード室



9号館の南側に位置するケヤキ並木。
1階の学生ラウンジ横からの眺めは、
窓枠が額縁となり絵画のように見え
ました。

幸友会に関するお問い合わせ一覧

[会員数] 法人会員759社 個人会員443人
(平成23年10月15日現在)

○ご入会手続き	▶ 幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリアセンター	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 研究支援センター	0568-51-4852(直通)
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 渉外部渉外課	0568-51-1111(代表)
○オープンカレッジ・公開講座	▶ エクステンションセンター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 広報部	☎ 0120-873941

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問などは、下記のE-mailへ
お気軽にお寄せください。なおバックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。

発行 平成23年10月31日

編集 中部大学幸友会

住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学渉外部内
TEL.(0568)51-1111〔代表〕 (0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186
ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/>〔「企業の皆様」・「地域の皆様」をクリックしてください〕
E-mail kouyukai@office.chubu.ac.jp

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された
中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。